



# 同窓会報



◆ 発 行 ◆ 宮城県仙台第二高等学校同窓会 〒980-8631 仙台市青葉区川内澁橋通1 ☎ 221-5651(直通)  
 ◆ Eメール ◆ qqnt4329@wonder.ocn.ne.jp  
 ◆ 印 刷 ◆ 創文印刷出版株式会社 〒980-0821 仙台市青葉区春日町8番34号 ☎ 222-0181

## 第 49 号



桜花爛漫わが母校(平成28年4月11日撮影)

### 目次

巻頭言・校長挨拶・前校長寄稿	2
支部総会・同期会等開催報告、寄稿	4
創立記念講演会	15
支部・OB会連絡先	16
平成28年度年間行事予定、評議員名簿、 評議員会報告、理事会等記録、各理事會務分担	18
平成27年度収支決算報告	20
卒業式・同窓会入会式・入学式の報告、 定期戦・ゴルフ対抗戦の報告、叙勲受章者、寄贈図書	21
会費納入について、 平成27年度同窓会費納入状況	23
平成28年度同窓会総会のご案内、 PT同懇のご案内、全北陵ゴルフ大会のご案内	24
理事会からのお知らせ	25
過去三年間の大学入試合格状況	26
部活動の記録	27
会員計報	33
今春の人事異動、メーリングリストの利用について、 交通の便、編集後記	34

巻頭言

「教育は国家百年の大計」

同窓会長 大井 龍司 (高10回)



とによる。

歴史は繰り返す。今回問題視するのは現安倍政権（平成二十七年）によって約一年前に発せられた「国家の成長戦略のための即戦力人材養成」を目標とした国立大学の人文科学系や教員養成系学部の廃止あるいは見直しを求めた文科省通知である。これには明らかに国際的「経済競争」に勝ち抜くために国立大学の文系を縮小あるいは廃止し、浮いた予算と人員を理工学系学部再配分したいという意図がある。

当然のことながら人文科学系を有する国立大学では即座に反応し、予算決定権をちらつかせての通知であるにもかかわらず、中には「言語道断」「大学人として許容できない」という批判すらが相次いだ。その論拠は、人文社会学の軽視はわが国の人的基盤を根底から揺るがしかねないということである。つまり、イノベーションは文系・理系バランスのとれた教育研究の成果から得られるものであり、とりわけ人文科学系分野の「知の基盤」が重要な要素であるというもので、自分もおおいに賛意を表したい。経団連からも「大学教育全体を底の浅いものにし

ねない」との警告があったものの、文科省は誤解を与えた内容であったというまでには後退したが、通知自体を取り下げてはいない。国は何ゆえに国事、中でもとりわけ重要な教育政策について、かくも近視眼的に事を急ごうとするのであるか。前述の国立大学からの批判の中に「教育の時間はビジネスの時間と違って、無駄（良い意味での）を含む長期的な時間意識によって成り立つ」との指摘があった。勿論、大学は旧態依然のまま良いということはなく、時代の流れに応じて改変、改善が求められるものの、このような施策が一方的に押し付けられるようであれば、大学の自治や学問の自由が奪われるだけではなく、自国の文化、伝統や歴史、社会そのものの多様性を理解し得ない、人間性豊かな教養には無関心な偏った思考を持つ人材のみが育つことになる。敢えて例を挙げれば国政を問わず政治家である。昨今、しばしば目に付くレベルが低い政治家の資質が、より一層劣化するところが危惧される。

と。このように思考してこそ、人には諸事万端への卓越した大局観や的確な総合判断力が備わるのであって、そのような人材には文学、哲学、歴史、芸術などの文系資質が必須なことは言うまでもない。結論はまさしく「教育は国家百年の大計」である。現政府は、今

校長挨拶

「いっしょに」



このように思考してこそ、人には諸事万端への卓越した大局観や的確な総合判断力が備わるのであって、そのような人材には文学、哲学、歴史、芸術などの文系資質が必須なことは言うまでもない。結論はまさしく「教育は国家百年の大計」である。現政府は、今

目にも鮮やかな新緑の季節、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素から本校の教育活動に温かいご理解とご支援をいただき、厚く感謝を申し上げます。

今年春の異動で教育庁教職員課から本校に着任し一月余りが過ぎました。伝統ある仙台二高の校長職ということで、その重責からの緊張感がお続いておりますが、それと同時に、これから二高でどんな出会いや感動が待っているのかと考えると、期待感でいっぱいです。

校長 長島 勝彦

今年春の訪れも早く、満開の桜に祝福されながらの入学式となりましたが、多くのご来賓の方々にご臨席をいただき、大井龍司同窓会長からは身の引き締まるような励ましの言葉を頂戴し、新入生、教職員一同、決意も新たに新年度を迎えております。

応援練習、大運動会、定期戦と伝統的な行事が続く中で、短い期間ではありますが、新入生も二高生としての逞しさも少しずつ身につけてきたように思います。

順調にスタートを切った新年度でしたが、四月下旬頃から一年生にインフルエンザが流行し、四日間ほど学年閉鎖といたしました。その影響で大運動会のマスメームは二、三年生のみでの演技となりましたが、上級生の整然とした美しい演技を見て、次は自分たちという思いを抱いた一年生も多かっ

たようです。先輩から学び、いつか先輩と同じ様に、そして超えていきたい、そんな思いが二高の伝統を作り上げてきているのだと感じています。

「文武一道」の精神も脈々と後輩たちにも受け継がれています。昨年度は、フェンシング、空手、陸上、水泳、馬術、ヨット、弓道で全国大会の個人戦に進出し、団体球技は全ての部が、県内主要大会のいずれかでベスト8以上を達成しました。学芸部でも、囲碁、将棋、自然科学（物理・化学）がそれぞれ全国総文祭などで活躍し、自然科学部門（ポスター）で文部科学大臣賞を受賞しました。また、国内大会を優秀な成績を修め、米ピッツバーグでの国際大会（ISEF）に参加した三年生の生徒が地球環境科学部門で第三等にも輝きました。今年度も、定期戦での硬式野球部の雪辱を含め、各部とも昨年以上の成績を目指し、日々精進しているところであります。引き続きご声援をいただければと思います。

最後にありますが、二高同窓会の益々のご発展と同窓生の皆様のご健勝をご祈念申し上げます、挨拶といたします。今後ともよろしくお願いいたします。

寄稿

### 「退任にあたって」



前校長 渡邊 幸雄

風にそよぐ木々の緑もまぶしい季節となりました。同窓生の皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて私こと、この三月をもちまして、宮城県仙台第二高等学校を最後に定年退職いたしました。三十八年間の教員生活でした。この間、数多くの生徒達や教職員、関係の皆様と出会い、楽しく充実した日々を送ることができました。特に、最後のこの四年間は、母校に奉職でき、様々なことに真摯に努力する生徒諸君の文字通りの「文武一道」の活躍を、間近で直接感じ取ることができ、大変有意義な時間（とき）を共有することができました。これも偏に、生徒の活躍を支える教職員とPTA、同窓会をはじめとする関係の皆様のご理解、ご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。この四年間を振り返ってみます

と、新たに始めた二学年希望者によるアメリカ研修、普通教室へのエアコン設置、図書館等のMEIJO化と英語多読教材の整備など、いづれも、同窓会、奨学会からのご支援を得て、はじめて可能になったものでした。部活動に対する継続的な物心両面にわたるご支援のおかげで、部活動も大いに活性化しております。また、昨年一二月には、高18回生の皆様から、卒業五〇周年を記念して、校舎案内板を寄贈していただきました。そのほぼ同じ時期に、地下鉄東西線が開業いたしました。最寄りの国際センター駅（徒歩約四分）は、仙台市が最も力を入れている駅です。屋外テラスもあり、大変開放的な印象で、眺望も素晴らしく、桜の季節には、「桜の小径」を通じて二高体育館の脇に出るコースなどは最高であったことと思います。このように、二高を取り巻く環境や雰囲気は、ますます良くなりつつあります。

また、この四年間は、同窓会の各支部や職域での北陵会、部活動の周年行事などにお招きいただき、同窓生の皆様と親しく懇談する機会を持りましたことは、この上ない喜びでした。お心遣いに重ねて感謝申し上げます。また、皆様とお会いできる日を楽しみにしております。

上で、生徒の文字通りの「文武一道」の活躍と記しましたが、この四年間では、将棋女子個人、囲碁男子団体の全国優勝、化学部の全国高校総合文化祭文部科学大臣賞（最高賞）受賞、国際大会への出場をはじめ、毎年のように学芸部による全国レベルの活躍が続きました。また、運動部も毎年、複数の部活でインターハイ、国体に出場し、昨年度は、水泳男子個人、弓道女子団体（宮城県チームの一人員）で全国入賞を果たしています。また、七つのすべての団体球技でベスト8以上の成績を残したことも特筆されます。進路面においても、難関大学、学部への進学をはじめ、過去最多を更新すること、またたびたびでした。このように、これから仙台二高は、学業はもとより、部活動をはじめ様々な教育活動の成果に周囲の期待が益々高まる中、創立一二〇周年に向かうこととなります。どうか、母校に對しまして、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

このたび着任した後任の第二四代長島勝彦校長は、本校同窓ではありません（新潟県高田のご出身です）が、お子さんが本校の同窓生であり、いわば保護者OBで、ご縁を感じております。かつて一緒に仕事をした時期もありましたが、大変有能で、お人柄もすばらしく、豊富な経験と高い識見を有しており、私も心強く感じております。私同様よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、同窓生の皆様のご発展をご祈念申し上げます、御礼かたがた退任の挨拶といたします。



# 支部総会等 同期会 開催報告

## 支部総会報告

### 福島北陵会

阿部 力哉（高3回）

平成二十七年七月十一日に福島市の峰亀において福島北陵会が開催されました。

二高同窓会本部からは渡邊幸雄校長と同窓会副会長鈴木邦夫氏の出席をいただきましたが、この日の出席は急に来れなくなった人もいて、総計十人の会となりました。

校長先生から今年の大学入学者について、難関校への合格者が高かったことや、在学生の部活の状況などに関する説明がありました。

東北大学医学部外科教室で大井会長や私の先輩で、市内で開業していた菊地喬氏から同窓会への寄附があつて、その使途を検討している事もうかがいました。

福島は大震災後四年を過ぎましたが、それに放射線被害が加わつて未だに十一万四千人余の避難者がいます。原発の廃炉への過程は大変厳しく、遅々として進んでいません。

福島北陵会の出席率は年配者が

多く、先行きが懸念されます。何とか若い同窓生の参加を得ながら継続してゆきたいと思っております。



### 岩手支部総会

鈴木 恒男（高5回）

新入生歓迎会

平成27年 5 月 30 日

盛岡グランドホテル

第三十四回となる標記の会が平成二十七年五月三十日盛岡グランドホテルで開催されたのでご報告致します（写真1）。当日はご来

賓として本部から渡邊幸雄仙台二高校長、大井龍司同窓会会長、前野文男同窓会理事ご三名の出席を賜り盛大に華やかに挙行されました。

記念の集合写真をご覧になるとおわかりのように出席者数が例年の十数名から三十一名と大幅に増えました。その理由として開催時期を一月下旬の土曜日から五月末に変更したこと、そして岩手医大、岩手大学他の仙台二高からの新入生歓迎会を兼ねて開催したことです。これは小川彰岩手医大理事長、学長（昨年から岩手支部名誉支部長になられた）の力が大きく関わっておりまして、自ら岩手医大の教授、助教授をはじめ新入生の集まりでお声をかけていただきご勧誘いただきました。誠に有難く御礼申し上げます。

小生からは支部総会会場を会員である吉江信博氏（高21回）が社長の盛岡グランドホテルに、時期も厳寒時の一月末から気候の良い五月に上記の意義も含めて変更したこと、また岩手県での同窓会の現況を申し上げました。御挨拶で渡邊校長からは仙台二高が順調に各方面で活躍し、成績を伸ばしていること、文武一道を掲げて進まれていること、大井龍司同窓会長からは同窓会として全力を挙げて支援すべく努力されていること、同窓会組織も全国各県に結成してもらいたいとして東北、北海道地

域には特に充実した組織をつくってもらいたい旨を強調されました。会にご来賓が帰仙される寸前まで活気ある雰囲気午後八時恒例の校歌斉唱、凱歌で一次会を閉じました。その後、ご来賓を除くほぼ全員が二次会へと移動し貴重で意義のある一日となりました。



(写真1)

第23回仙台二高、仙台一高合同同窓会  
平成27年11月14日

盛岡市三寿司総本店

また第二十三回となる岩手県在住仙台二高、仙台一高合同同窓会が平成二十七年十一月十四日開催されておりまして併せてご報告致します（写真2）。これも第一

回が昭和六十三年一月二十三日開催以来回を重ねている会です。仙台一高側は総会はなく、この合同同窓会直前に会をもっております。やはり両校とも熱意をもって開催しており、仙台二高本部からは渡邊幸雄校長、大井龍司同窓会会長のご出席を賜り、仙台一高側も加藤順一校長、浅見紀夫同窓会会長がご出席になられております。

仙台二高、一高合同のこの会はラグビーで言えばノーサイドであり、お互い切磋琢磨しあつてきた仲間であり、親しむべき友達であり、今後とも続けて行くべき会と思っております。先生方も両校双



(写真2)

方に勤務された経験をもつ方も居り、顔見知り、知己もあって交歓し合っておりました。  
簡単ですが以上両会合のご報告とさせていただきます。

### 東海北陵会

千葉 善根 (高9回)

#### 第二十回総会・懇親会

平成二十七年十一月七日に、名古屋市内で第二十回東海北陵会の総会・懇親会が開催された。

渡邊校長先生と、前野同窓会副会長、村上事務局長の三名をお迎えし、高4回〜高27回の皆さん、計十六名が参加して、総会・懇親会が開催された。

総会の議題は、決算報告、役員選任、会勢報告などがあり、い



総会会場

れも、原案通り、承認された。

千葉会長の挨拶に引き続き、渡邊校長先生から挨拶と、「北陵の四季」、「平成二十七年度仙台二高概要」の資料をもとに、校内活動の詳細な紹介があった。文化部のみならず、運動面でも活躍し、文武一道を実践している事が理解できた。更に、前野副会長から、「仙台二高同窓会の概要」「大震災追悼のモニュメント建立」の資料が配布され、同窓会の活動の紹介があった。新しい支部の開設にも力を入れている事や、会員の年会費の納入率向上に努力されている事も理解できた。

昨年引き続き、蕎麦屋での総会ではあったが、次々に出される料理を堪能しながら、会員同士の和やかな歓談が進められた。

歓談の途中、話題提供として、高19回の野田さんから、オリンピック関連で話題が浮上した「デザインやエンブレム」について、プロジェクトでの紹介があった。話が面白く、議論が白熱し、時間が足りなかった関係から、次回も継続する事とした。

また、高8回の久保さんから、「習近平時代の中国と日本」と題する講演会の資料が配付され、中国といかにうまく付き合う事が大切かを痛感した等が紹介された。懇親会の最後には、鈴木新会計監査(高16回)の指揮のもと、全員で「雨か嵐か」「凱歌」と「校歌」

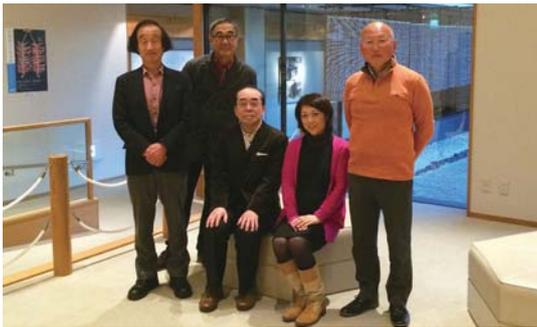
を歌い、有意義な総会・懇親会を終了した。

#### 美人画観賞

平成二十七年十二月五日に会計幹事の野田さん(高19回)の企画で、名都美術館で開催されている伊東深水特別展での美人画鑑賞会が行われ、有志会員五名が参加した。

鑑賞に際しては、跡部学芸員から作品に対する丁寧な解説が行われ、理解を深める事ができた。更に、本館所蔵の作品のみならず、他の美術館から借用展示されている珍しい作品も多く、貴重な名画を鑑賞する機会を得た。

行事終了後、近くの蕎麦屋で飲み放題の懇親会が行われ、総会だけでは話し尽くせない話題で盛り上がり、散会した。



美術館のロビーで

#### 半田地区散策

平成二十八年三月十八日に、岡さん(高9回)の企画で、知多半島中部の半田市内を散策し、有志会員十名が参加した。

まず、明治三十一年にカプトビール製造工場として建設された有形文化財の赤レンガの建物を訪問し、全員で当時のビールを堪能した。その後、紺屋海道を四十分程掛けて散策しながら、中壱酒造が運営する「酒の文化館」を訪問し、国盛を中心とした日本酒の試飲を堪能した。更に、「ミツカン・ミュージアム」で酔の勉強会を実施した。

最後に、知多半島の魚料理で有名な「魚太郎」で、豪華会席料理十飲み放題の懇親会を行い、時間を忘れて楽しい半日を過ごす事ができた。以上



赤レンガの前で

### ニューヨーク支部

旦 英夫 (高20回)

暖冬とは言え、まだ寒さが肌に厳しい三月一日、第三回ニューヨーク支部同窓会を開催しました。マンハッタンの和食店の個室に陣取った総勢五人の会は、初参加、松下さんの歓迎の乾杯から始まり、すぐに旧友同士の集まりのような雰囲気の中、大いに盛り上がりました。時期は違っても、同じ学び舎に青春を過ごしたという親近感のもと、各自の歩んできた道は異なっても、今ここのニューヨークの地とともに杯を重ねることができるといふ、感動に満ちた時間でした。ここ数年、母校の生徒二十余名がボストン、ニューヨークにて研修旅行に来ることを我々は心から嬉しく思っています。彼らと楽しく親しく話をし、我々の経験を伝え、外国生活の喜び(と苦勞)を少しでも共有できることは、大きな喜びです。その生徒の中から、一人でも新しいニューヨーク会員が生まれることを心より期待しています。会もたけなわになった頃、二高のホームページにスマホを使ってアクセスし、そこに収載されている歌声を伴奏として、我々五人ですべての応援歌を唄いきり、最後に校歌を斉唱したときには、気持ちは青葉の山、広瀬の流れと一体になりま



した。大井会長からのご親切な

メッセージのなかに、同窓会理事  
会では、海外の支部を増設すべく  
努力中とありました。その嚆矢と  
して、NY同窓会が今後さらに継  
続発展するよう我々も努力したい  
と思えます。

出席者…  
白田正樹(68年卒)、福永龍美(70年卒)  
蓼原祥太郎(86年卒)、松下幸生(88年卒)  
旦 英夫(68年卒)  
連絡先 hideodan@gmail.com

### 第11回青森支部総会 開催報告

新山 龍治 (高22回)

全ては一昨年の一本の電話から  
始まった。二代前の二高校長であ  
り同期の、庄司恒一君からである。

会いたいと言う。現役校長時代、  
「二度、青森の同窓会に僕を呼ん  
でくれよ」と何度か要望されたこ  
とがあり、この電話にはちょっと  
悪い予感がしたのである。結果、  
三月六日、青森市内の行きつけの  
鮎屋で一献かたむけることとなっ  
た。高校時代の想い出話に花が咲  
いているうちは唯々なつかしく楽  
しいだけであった。が、話が同窓  
会のこと及び、青森支部が有名  
無実化していると非難されると、  
酔いも少し醒めかかるが返す言葉  
も見つからない。形式上、私は事  
務局長なのだ。「新山、お前が支  
部長やれよ」と言われても、何と  
も答えようがない。

そんな話も交えつつ、二人で笑  
い転げて楽しい時間を過ごし、最  
後は校歌を歌って再会を期そうと  
いうことになった。二人で歌った  
校歌は、一高のものであったが  
……。そして調子づいた我々は陽  
気な気分で肩を組み、店を出たの  
であった。

だが後日。その日の悪い予感は  
当たってしまった。大井龍司会長  
からの郵送物が届いたのだ。一日  
の診療を終えて自宅に帰り、それ  
を目にした私は、悪い予感的の中  
したことを悟った。早い話、お二  
方に強烈に尻を叩かれたのであ  
る。万やむを得ない。いつの間  
か動かざるを得ないところまで追  
い詰められていた。私を事務局長  
に任じた仕掛け人、前事務局長で



あり高校8回の佐藤秀樹氏に、事

務雑務は全て自分がすることを条  
件に支部長を依頼申し上げるも、  
やはり交渉決裂。

そんな折、七月四日、恒例の仙  
台二高同窓会総会が、仙台・江陽  
グランドホテルで開催された。円  
卓につくと私の真正面に大井会長  
の姿。気まずい思いに駆られる。

それでも、常盤木学園高校の女子  
生徒さん達によるフラダンスの妙  
技に大井会長がのめり込み、急に  
雰囲気や和らいで、私としては心  
底助かった。今後、会長にお会い  
する際には、堂々とした気持ちと  
態度でお話しさせていただきたい  
ものだと思う。

十八日、青森市内で第11回総会を  
開催することができた。心から  
ホッと、安堵している次第。集  
まったのは、その佐藤秀樹氏と、  
同じく高校8回の種市襄氏、31回  
の羽賀義広氏、そして私の四人だ  
けではあったが、お互いの近況や  
他の支部会のこと、一高のことな  
ど話に花が咲き、大いに盛り上  
がった。私の手許にある資料で調  
べた限りでは、青森支部結成会が  
開催されたのが昭和五十三年五  
月。これが第一回総会と記録され  
ている。平成九年十二月に第十回  
総会が開かれてからは記録が全く  
途絶えている。数えてみれば、何  
と十八年ぶりの総会開催というこ  
とになる。これでは体裁が悪すぎ  
て、尻を叩かれても悲鳴すら上げ  
られないではないか。

今回の総会では、覚悟していた  
ことではあったが、私が事務局長  
兼任の支部長を担うことになっ  
た。その時の写真を掲載させてい  
ただく。左から佐藤氏、種市氏、  
羽賀氏、そして新山。種市氏から  
は事あるごとに連絡が入る。県内  
に同窓会会員をまたまた見つけた  
……等々。期待に応えなくては  
——。

実は全く思いも掛けないことで  
あったのだが、十一月二十八日に  
開催された「二高写真部OB会」  
設立総会にも参加してきた。聞き  
及ぶところによると、こういった  
一連の各種設立総会等々は全て、  
大井会長のお言葉によって活動し  
始めたというところが大きいらし  
い。大井会長のことを凄いい方に  
改めて思わずにはいられない。  
次回の本「同窓会報」には、も  
う少し参加会員数の増えた報告を  
したいものと考えている。

### 関西北陵会

川幡 公章 (高26回)

二〇一六年三月五日(土) 大阪  
中央電気倶楽部にて第十八回関西  
北陵会を開催いたしました。

仙台から大井龍司会長(高10  
回)、渡邊幸雄仙台二高校長(高  
26回)、村上二朗事務局長(高27回)  
をお迎えし、関西在住会員十四名、  
関西地区の大学に進学中の学生一  
名 合計十八名が総会・懇親会に  
参加いたしました。

総会は、校歌斉唱、東日本大震  
災追悼及び物故者 廣岡昌様(高  
7回)の御冥福をお祈りしました。  
麻喜宏雄会長(高9回)の開催の  
挨拶、御来賓の大井会長から仙台  
二高同窓会の状況、渡邊校長から  
母校の状況についての御報告を頂  
きました。

仙台二高は、大学進学・部活動  
の実績はもとより、アメリカ研修、  
日英サイエンスワークショップ、  
海外プロジェクト探検隊への参  
画。夏休みには、東京大学見学会・  
企業大学訪問が行われ、若い生徒

の皆さんがグローバルな世界で活躍するため、動機づけとなる行事が開催されたとの報告がありました。多感な高校時代にこれらの経験を積むことは重要であり、今後の人生にとり貴重な経験となった事が伺われるお話でした。

その後、平成二十七年年度の決算報告、世話人の選任、会計報告などが行われ、原案通り承認されました。

懇親会では、各人五分程度の近況報告がありました。今年も、皆さんそれぞれお元気な姿を拜見させて頂き、来年も元気で再会しようと言ひ散会致しました。

関西北陵会は、高校・大学卒業後に関西の大学や企業に転動した方が主体です。近年は、関西地区



の大学へ進学する方が多いとの事ですので、学生の皆さんに参加頂くことで、より活力のある同窓会の活動が出来ればと考えております。この春開催された、北陵会の入会イベントでは、関西地区の大学へ進学した学生さんの連絡先を御連絡頂けると伺いました。次回以降、御連絡させて頂きますので、皆さんの積極的な参加をお願い致します。

故菊地先輩(中46回)の御家族から関西北陵会の旗を寄贈頂きました。今後の関西北陵会の総会にて大切に使用させて頂きます。菊地様には、この場を借りて篤く御礼申し上げます。

最後に私事で恐縮ですが、三月末で退職される渡邊校長は、

四十五年前に多賀城から二高まで電車通学した友人です。卒業後は、それぞれ別の道を歩み、時々お会いする程度でしたが、彼が母校の校長に着任後は、年に一回大阪でお会いし、お互いの状況を話すことを何よりの楽しみにしておりました。

『朋の遠方より来る有り』の言葉の通り、関西北陵会に参加して良かったなと感じた次第です。この四年間、母校の更なる発展に導いてくれた渡邊校長に改めてお礼を申し上げます。

二〇一六年三月二十六日

### 仙台二高在京同窓会 練生川淳志(高30回)

二〇一五年十月十七日(土) 学士会館(東京都千代田区)において在京同窓会総会を開催致しました。母校から牛来生人教頭(高33回)、同窓会本部から柘澤慶悦副会長(高21回)、阿部孝一理事(高26回)、村上二朗事務局長(高27回)、友好関係にある熊本高校東京同窓会から岡本利明会長、安在健幹事長補佐を迎え、在京同窓会会員一五名、合計二二一名が総会・懇親会に参加致しました。

総会に先立ち、会員物故者へ黙祷を捧げご冥福をお祈りしました。

総会では、ご来賓ご紹介の後、役員紹介、議事(会計報告、監査報告、会則制定の件、役員改選の件)が順調に進行し、再任された上上條努会長(高24回/サッポロホールディングス株式会社代表取締役社長兼CEO)よりご挨拶をいただきました。

ご来賓の牛来生人教頭からは、最近の母校の様子をお話いただき、文武にわたる後輩の活動状況を報告いただきました。進学実績はもろんのこと、スポーツ競技では、フェンシングや空手、陸上、水泳の各部活動がインターハイに出場し、また学芸面でもJSEC(高校生科学技術チャレンジ)

で大臣表彰を受賞し、米国ピッツバーグで開催された国際大会において地球環境科学部門で三等を受賞したとのことでした。その他、囲碁や将棋の学芸部も全国大会に出場するなど、文武にわたる活躍に出席の先輩会員は鼻高々でした。

柘澤慶悦副会長からは、本部同窓会の活発な活動状況を報告いただいた後に、世界的な彫刻家である武藤順九氏(高20回)制作の「東日本大震災鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」について説明があり、同窓生を中心に寄付の依頼があり、懇親会の中で募金を募りました。

懇親会は、同期または近い代でテーブルを囲みましたので、各テーブルで懐かしい話に多めに盛り上がり笑い声が絶えない時間が続きました。今回、各テーブル毎で記念撮影を行いました。撮影した記念写真はその後同期会等で各学年幹事より手渡されました。

また、懇親会のアトラクションとして、サブライズで仙台を地盤とする、女子プロレスリング団体の「仙台ガールズプロレスリング」の里村明衣子代表を含め三名の女子プロレスラーが乱入し、ステージで雄たけびを発した後に、各テーブルを回り、記念撮影を行うなどこちらも多に盛り上がりました。

総会の締めめ段では、校歌斉唱



に続き、応援団のメール交換が行われ、応援団団員の旗振りの下、全員で「雨か嵐か」、「勝利の歌」、「凱歌」と歌い上げました。総会・懇親会終了後は、二次会と称して都内各所で同期会が開催されたようです。

なお、本年は、二〇一六年九月三日(土)十四時から同じ学士会館(東京都千代田区)で総会・懇親会を開催予定です。前回以上の盛り上がりとなることと思っております。是非多くの会員のご参加をお待ちしております。

また、悲しいお知らせですが、昨年十一月五日に在京同窓会幹事長として設立から活躍され、北社会(在京同窓生の勉強会)発起人でもいらっしゃいました青山史

朗さん(中40回)がお亡くなりになりました。

青山史朗さんの在京同窓会に対する献身的な努力に対し敬意を表し感謝申し上げます。心よりご冥福をお祈り致します。

### 在京同窓会 新卒者 歓迎会・若手交流会

練生川淳志(副幹事長/高30回)

二〇一六年五月二十八日(土)、在京同窓会として初の企画である、「新卒者歓迎会・若手交流会」が恵比寿ガーデンプレイス(東京都渋谷区)において開催されました。

このイベントは、学年幹事会での「学生も含めた若手が参加しやすい会」をとの希望で実現したものです。

会には、今春卒業して首都圏に進学した新卒者が二十九名、二年生から大学院生までの学生が二十三名、学年幹事を中心とした古手(失礼)の会員が三十一名参加し、八十三名の盛大な会合となりました。

冒頭、記念講演として、在京同窓会会長である上條努会長(高24回/サッポロホールディングス株式会社代表取締役社長兼CEO)より「未来ある若者達へ」と題した講演をいただき、海外での勤務経験から国際人としての心構えなどについてお話しをいただきました。

した。

その後先輩三名から、新卒者を含む学生に向けてのスピーチをいただきました。スピーカーは、泉田達也(高31回)、宮澤聡(高52回)、佐野由梨(高64回)の皆さんです。いずれの方も、実業界、医療業界、官界等で活躍の皆さんであり、新卒者は将来の自分の姿を重ねて熱心に聞いていたようです。

その後、浅野史郎さん(高18回)の名調子のご挨拶と乾杯の発声で楽しいパーティがスタートとなりました。

懇親会の各テーブルでは、二高時代の部活動、出身中学、また現在の学業など、初対面ながら、先輩後輩入り乱れて、多くの話題で盛り上がりつつありました。

その後、新卒者全員がステージに出て、ひとりひとり自己紹介を行いました。

また、余興として「仙台二高クイズ」を行い、グループ対抗で賞品を競いあいました。仙台二高クイズの中には、「修学旅行が廃止された年は？」とか「正面玄関の銅像は誰？」というようなクイズであり、会場内爆笑しておりました。

懇親会の終盤では、サブライズとして、今春、仙台二高校長を退職され、現在東北工業大学に勤務されている渡邊幸雄さん(高26回)からのメッセージが届けられました。



た。学生からは「懐かしい!、お会いしたい!」との声が上がっていました。

会の締めめの段では、応援団OG三名の旗振りの下、「勝利の歌」を高らかに歌い上げました。

総会・懇親会終了後は、二次会と称して恵比寿界隈で同期の集まりが開催されたようです。

今回初めての企画でしたが、参加した若手に大変喜んでいただきましたので、在京同窓会としては来年以降も継続開催し、新卒者とのつながりを築いていきたいと考えています。

現在、三年生の現役生の皆さん、東京でお待ちしております。

### 北陵ドクター倶楽部 第2回総会

菊地 徹(高35回)

平成27年8月22日(土)

於・江陽グランドホテル

北陵ドクター倶楽部は、昨年七月、満を持して設立された仙台二高出身医師によるOB会である。

午後六時、鶴飼克明幹事(消化器内科、高28回)の司会進行で第二次総会開会。

山崎匡会長(消化器外科、高12回)のご挨拶に続き、今井克彦顧問(眼科、高9回)の議事進行により早速協議に入りました。

鈴木晋介代表幹事(脳神経外科、高26回)より、「会則第八条 事業」に関して、定時総会の日程の固定化が提案されたが世話人会に持ち帰り再考することとなった。会計担当幹事、筆者、消化器内科、高35回)より、「会則第九条 会計・会費」に関して、今年度より会費徴収を開始したことに伴い会計監査報告は次年度より行う旨説明があり了承された。

最後に、参加者全員による簡単な自己紹介の後、五十嵐章副会長(産婦人科、高13回)のご挨拶で総会は恙なく終了した。



続いて、特別講演会である。本郷道夫副会長(消化器内科、心療内科、高19回)に座長をお努めいただき、学会出張帰りのご多忙のところ、当倶楽部監事の石岡千加史東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野教授(腫瘍内科、高29回)に、「がん薬物療法の進歩と課題」の演題名でご講演いただいた。がん化学療法の基礎から最新事情まで詳しくご解説いただき頭の中が極めて活性化させられた一時間であった。

会場を移して記念撮影である

が、昨年に引き続き経費節減の観点から安田恒人顧問（精神科、中45回）が自らの一眼レフのシャッターを切った。

いよいよ懇親会である。司会進行は筆者が担当した。

白根昭男顧問（消化器内科、高9回）の指揮で校歌斉唱。

来賓の渡邊幸雄校長（高26回）から二高の近況を、当倶楽部顧問でもある大井龍司同窓会会長（小児外科、高10回）ならびに阿部孝一理事（高26回）から同窓会の現況をお話しいただいた後、安田顧問の乾杯で一同懇親を深め合ったのだった。

やがて華やいだ雰囲気の中に懇親会もお開きの時間となった。かつての応援団幹部である野口光徳幹事（消化器内科、高31回）を中心に、嶋原康先生（形成外科、高34回）、菊地達也先生（消化器内科、高37回）による旗振りに合わせて「雨か嵐か」、「凱歌（一、五番）」を高らかに歌い上げ、散会となった。

平成二十八年八月、第三回総会が挙行予定である

現在、案内状は住所の把握できない県内の先生方を中心に送付しておりますが、案内状ご希望の先生は当倶楽部にご一報いただけますようこの場をお借りしてご案内申し上げます。

クラブ・回期報告等

仙台二高創成会

総会開催

高橋 正道（高3回）

恒例の高3回卒仙台二高創成会の総会は申年七回目の年男を祝う十七日（日）正午から江陽グランドホテルで開催された。今回は愛媛県松山市・首都圏・福島市・山形市・盛岡市と遠路遙々の参加を含め前年を上回る三十二名が参加、年一回の元氣な姿を確認しつつ近況について各人から報告があった。高齢なりに健康長寿の工夫が披露され、他では味わえない同期の会ならではの独特の楽しい時間であった。特に今年は同窓会



から寄贈の会旗の紹介があり、記念写真の背景に見事に飾られ一同感激した次第。来年以降の健康での再会を期して二高凱歌の斉唱で閉会。

高校18期生卒業50周年

記念事業について

加藤 俊一（高18回）

それは二〇一四年四月二十日の

ことでした。前日に我々18期生で天折した島倉康浩君の三十三回忌を作並温泉で行い、その帰路同期数名で母校へ久しぶりに立ち寄りました。春の訪れの遅い仙台では丁度桜が満開でした。正門を入ってすぐの河合校長先生の銅像の傍らにある「大盤石」は我々が在学中にはなかったものですが、一九八四年に仙台二高東京同窓会（現・在京同窓会）の先輩諸氏が寄贈されたものであることを裏面プレートの説明で知りました。そして、自分たちもこの学舎を巣立ってから間もなく五十年になることに気がつき（昭和四十一・一九六六年卒業）、なにかの記念事業をできないだろうかと思ひ立ちました。

故郷や母校への想いというもののは遠くに離れば離れるほど募るもののように、在京の同期仲間の懇親の場である「東京一八会」の飲み会で有志による寄付を提案したところ、すぐさま賛同が得られ

ました。仙台の本家の「一八会」の皆さんにも呼びかけたところ同じ思いを共有することができ、発起人として「東京一八会」から十数名、「二八会」からはクラス幹事が全員名前を連ねることになりました。また内容は最終的に高18回生有志による事業とし、同期幹事会から数名の検討委員が選出され、以後の進行・連絡の一切を手弁当で担ってくれました。

具体的な事業内容については、渡邊校長先生（当時）や同窓会長の大井先生なども相談を重ねながら、最終的に学校側のご希望である「学校の施設案内板」を寄贈するということに決まりました。そしてここまでの内容をもって同期卒業の皆さんに寄付の呼びかけをした結果、一五五名という多数の仲間から目標額の倍以上にあたる二四〇万円超の寄付が寄せられました。団塊の世代として昭和から平成を生きてきた同期諸氏の母校に対する熱い心を感じさせるものでした。

学校施設配置板は正門を入れてすぐ右の植え込み沿いに設置され、昨年十二月十八日に現地で開催式が行われました。当日は寒空の下ではありましたが、渡邊校長、大井同窓会長、そして生徒会長と応援団長の生徒代表も臨席しての熱い除幕式となりました（写真）。その後場所を江陽グランドホテルに移しての祝賀会には五十名ほど

の同期の参加があり、母校の益々の発展を祈りつつ祝杯をあげました。

なお、寄付の残余金は学校図書館に寄贈し、教材としての図書購



入に活用していただくことになって  
います。

記念事業発起人代表

渡辺康之、加藤俊一（文責）

### 二高写真部

### OB会設立会

佐々木孝治（高18回）

同窓会からの話では運動部では、個別のOB会が盛んに行われている。文化系クラブも是非という呼びかけで、写真部OB会を充足させる運びとなりました。高19回の伊勢さんが、色々情報収集を行ってくれました。お互いが見

知っているのは、三学年だけなので、そこからのつながりを探していくのに、苦労しました。現在でも、高15回から高22回までしか、情報がつかめていません。けれどもまずは、集まってみましょうと連絡のつくメンバーでの設立会実行となりました。平成二十七年十一月二十八日（日）、仙台 藤崎地下 森のバルクにて挙行しました。

当日は高17回から高22回までの十四人が参集しました。遠くは青森、東京からの参加もありました。同じ暗室を使った仲間たちで思い出話に花が咲きました。高校卒業以来、初めて会う方々も多かったのですが、昔の面影ですぐ誰かわかったようです。在学中一緒ではなかった方とも交流ができ、有意



義な会合になったと思っ  
ています。二時間の予定もあ  
ったと言いつつ、かなり時間  
超過してしまいました。皆さん  
昔に帰って「雨か嵐か」「凱歌」「校歌」を高  
らかに歌いあげました。覚え  
ておられるものですね。次  
の会合を約して散会しまし  
ました。

次回ももっと広い年代での集  
まりができればと考えていま  
す。この記事を読んで、写真  
部だったという方は事務局ま  
でご連絡下さい。懇談の輪を  
広げていきたいと思っ  
ています。

### 化学部有志OB会

（高21、22、23回合同）

鈴木総一郎（高22回）

去る二〇一五年十一月七日、

山々が紅葉に染まる秋保温泉「佐  
勘」にて、化学部の有志OB会が  
一泊で開かれました。この有志OB  
会は、以前より集まりをもって  
いた高22回の学年が、上下の学年  
に声をかけて、二年前に、22回  
生が二年生だった当時の三年生と一  
年生：三学年のメンバーがそろ  
うという、高21、22、23回生合同  
OB会が実現したものです。今回  
はその第二回にあたり、21回から  
二名、22回は七名、23回六名と、  
総勢十五名が集結し、当時の部室  
をほうふつとさせる賑やかさで開  
催されたのでした。

一次会では、それぞれの近況が  
報告され、各分野での活躍ぶりや  
各自の健康や家族、リタイアされ  
ての晴耕雨読生活などが紹介され  
ました。21回生は今回はお二人の  
参加でしたが、前回参加された他  
の方々も近況もご用意いただき、  
読み上げていただきました。一次  
会が終わったところで、23回橋浦  
氏の愛機で集合写真の撮影を行  
いました。担当の仲居さんが、「お  
給仕しながら皆さまのお話を聞か  
せてもらいましたが、楽しい会  
でしたね」と最後にコメントして  
くれたのが印象的でした。

二次会に移ると、持ち込まれた  
豊富な酒類とつまみ（23回猪岡先  
生ありがとう）を前に、思い出話  
に盛り上がりました。当時の化学  
部の機関誌『河童』や生徒会の卒  
業文集『造型』も回覧され、みん



なで昔日の記憶をたどりまし  
た。

『河童』には、北陵祭で発表した  
研究発表が何本か掲載されてい  
たのですが、自分の発表を改めて読  
んだ当の本人から「これは研究  
じゃねーよな」と、ほぼ半世紀ぶ  
りの反省の弁が飛び出すなど、時  
空を越えた語らいと談笑の中、晩  
秋の温泉地の夜は更けていったの  
でした。22回庄司前校長から、現  
在に至る二高VS一高の変遷史な  
ども聞くことができ意義深い一夜  
でした。早くも次回の会を二年後  
の二〇一七年十一月十一日と決定  
し、翌朝、再会を誓って解散した  
のでした。

最後に、ひとつだけ残念なこと  
がありました。この会に先立つ約  
一か月前、22回の高野實くんが突  
然の逝去をされたことです。元氣

だったらこの会で会えた可能性も  
あっただけに、早すぎる死が悔や  
まれ、みんなその死を悼んだの  
でした。合掌。

### ハンドボール部

中鉢 貴省（高48回）

毎年一月二日恒例の送球始めて  
すが、今年は体育館の改修工事  
に伴い、コート利用が難しく、試  
合の手配が付かない中、以前より  
要望のあったユニフォーム、学  
校名入りビブス等をOB会より寄贈  
させていただきました。その贈呈式を執  
り行いました。

三年生からベスト4の壁を破  
ってほしいという思いを引き継ぎ  
スタートしたチームが早速国体予選  
で優勝という最高の結果を出しま  
した。（国体予選は、国体宮城県  
第一次予選会という名称で、三ヶ  
月後に行われる新人大会のシード  
決めに大きく関わってきます。こ  
の大会で優勝したことで、仙台二  
高は新人戦の第4シードを獲得）  
記録を確認したところ、初優勝

とのこと。その後の市民大会では、  
僅差で敗戦したものの、夏休み期  
間に決勝の舞台と僅差のゲームを  
たくさん経験することができた結  
果、新チーム初の公式戦となる新  
人戦で第三位となり、東北選抜お  
よび全国選抜出場権をかけて、一  
月に行われる県二次予選の出場権



を得ることができました。この新人戦第三位という結果も二十七年ぶりということ、ここまではチームが順調に成長しています。冬の練習では、体育館が使えないという厳しい環境の中で、筋力トレーニングなどを積み重ね、県二次予選にて東北選抜への出場権

- ・ジュニア大会予選三位で決勝Tへ進出
- ・春季大会(第三位)

という成績をマーク。

また、GW中には岩手の不来方高校への遠征(OB会より一部補助)も行い、着実に力をつけてきている中、これから定期戦、総体と頑張ってもらいたいと思います。

寄稿

「人生の転機」

杉本 毅 (中47回)

私の人生の後半を数行に纏めてみます。

産婦人科の医局で皆、がんやホルモンを専攻していましたが、私は人がやらないものを、と未熟児、新生児の仮死の蘇生法を色々試していました。その為の新生児用ベットとか電気吸引器(口腔内の粘液を除去)や酸素ボンベを一体にした機器の開発などです。

それがきっかけで当時の皇太子妃殿下のご出産に、東大産婦人科の恩師の小林隆教授の助手として宮内庁病院へ行き、その後毎年皇后様のお誕生日に皇居へ伺う等大きく人生が変わったのでした。

何が人生を変えるものか、分からないものです。

(二〇一五年十月記)

Once Olympian Always Olympian  
オリンピックの人間力  
ローマオリンピック  
ボート競技日本代表  
千葉 健郎 (高8回)

〔私のモットー〕

「サミュエルウルマンの「youth」という詩が年を経るにつれて益々好きになり時々口にしています。

(青春とは人生のある期間をいうのではなく、心の在り様をいうのだ)「人は信念と共に若く、疑惑と共に老い、自信と共に若く、恐怖と共に老い、希望ある限り若く、失望と共に老いる」。現在七十八才ですが、大事な詩であり、私のモットーです。ボートに出会い格闘し、事業で格闘し、大病を患い、津波にも遭い、それでも希望を持っていきます。逆境でも夢と希望を持ち続けたからかな、そして懲りずにいまでもね。

〔仙二高から東北大へ・そしてボート部へ〕

二高ではバレー部で二十八年団体・二十九年インターハイに出場。一九五六年(昭和三十一年)東北大に入学、一年の冬、誘われてボート部に入りました。同郷の気仙沼出身の畠山孝さんが一九三六年のベルリンオリンピックの出場者であることも入部の一因でした。合宿所のある塩釜では朝五時から七時まで船を漕いで、一時間半かけて仙台の校舎へ行く生活でした。厳しい練習でいつやめようかと思っているうちに新入生が入部してきて、やめずに頑張れよと言っていたら私自身が深みに嵌っていたのです。当時の監督堀内浩太郎さんは旧制二高・東大・航空機造船業界で活躍された素晴らしい人でした。この方の指導力・指導法には今でも敬服しています。上級生になって主将を任せられ集中力と

効率、最新鋭の装置での科学的実証、女子高体操部での敏捷性促進等々、旧来の体力勝負に少し知性と冒険を加え、先輩からはお小言も貰いましたが、堀内さんの寛大なフォローで事なきを得てタイムもぐんと伸ばすことができました。当時のボート競技には漕ぐだけでなく、船を造ることも含まれました。造船力学、航空力学、などの知識が当然必要で、この辺がボートの面白さでもありました。一九五九年(昭和三十四年)に来日したオックスフォード大学に決勝では小差で敗退しましたが、留年してでも翌年のオリンピックを目指そうと思い始め、帰郷して「一年大学に残って良いだろうか」と病身の父に相談したところ、「皆さんが勧めるならやってみなさい。但し卒業後は真つすぐ気仙沼に帰って来ること」を条件に留年の了承を得ました。

(一九六〇年)

日本代表としてローマに

努力が報われ無事日本代表となりました。当時世界一流のエイト二千メートルの記録は六分でした。我がチームの記録は何度も五分五秒を出していました。実際その頃つくった我々の公式記録はその後二十一年間破られなかったのです。堀内監督設計のボート「図南」を郵船で送り出し、一九六〇年八月我々は空路ローマに入りました。届いた図南を見て驚きまし

た。長い船旅に図南の船底が乾燥で波打っているんです。予選はトッブと約四艇身差で五艇中四位、大きなハンディキャップでのレースでした。更に予選・敗復ともフランス語のスタートの合図にミスし、予選は一位のドイツに二艇身(約八秒)敗復戦ではスイス・オーストラリアを千メートルで抜き、ラスト五〇メートルはイタリアとデッドヒートで戦い、写真判定で四〇センチほど届かず、決勝進出を逃し文字通り涙をのみました。地元イタリアの熱狂的な声援で東北大コックスの号令もクルーには



ローマ、アルバーノ湖(一九六〇年ローマオリンピック、ボート会場)でイタリアクルーに決勝。慶長遣欧使節出帆四〇〇年記念協賛事業(二〇一五・七・三〇)

届かなかった程でした。  
〔闘病・大手術から奇跡の回復〕

翌年気仙沼に戻り仕事を始め水産関係を中心に数多くの仕事に精をだしましたが、酒も良く飲み最後の一人を送り届けて遅い帰宅の日が続き、遂には十八年前食道ガンの宣告を受け99%見込みなしといわれた手術を、院長も外科部長もボート部の先輩・後輩の名医に恵まれ、マグロの三枚おろしのよう

にリンパ腺に至るまで徹底的に摘出してくれ、術後四日間眠り続けた大手術でしたが奇跡の生還を遂げました。頑健な身体に産んでくれた両親に、更に強くしてくれたいと、1%の確率から生命を与えてくれたドクターに、そして今でもオリンピックとして活躍出来ていることに感謝します。

〔伊チームと悲願の親善レース実現〕

二〇一五年は「支倉常長遣欧使節ローマ出帆四〇〇年記念」に当たり、記念行事としてローマオリンピックの日伊大接戦のボートレースから五十五年、開催地カステルガンドルフォ市アルバノ湖で当時の選手をまじえて親善ボートレースが開催されました。同市のミルビア・モナケージ市長から日本ボート協会に親書が届き本格的に、その後両国の関係者の熱い支援があり実現に至りました。日本チームは八大学から集まった平均年齢七十才弱のメンバーが同年齢のイタリアチームに挑みまし

た。日本チームは高齢ながら一流のベテラン年長の私に合わせるという試合前の約束もすつ跳んでハイピッチで気持ちよく漕ぎ一艇身以上の差で勝つことができました。見事五十五年前の雪辱をとげ、イタリアエイトとの友情も温めた素晴らしいローマ遠征でした。

〔3. 11震災からの復興〕

気仙沼市場の近くにあった我家は津波に流され最近まで家族を亡くし、家を流され、つらい思いをして人々と仮設住宅で暮らしていました。その一角の公園と空き地をみんなで力を出し合っ

てパークゴルフ場をつくりました。明るい心が通うコミュニティが出来、心身両面の健康が増進されていることを実感し、オリンピックとしてささやかに役に立てたかなと思っています。二年後には八十才になります。二年後にはメダルを取りたいと思っています。そのために家のそばにローイングマシーンをおいてトレーニングを続けて健康と体力維持に頑張っています。

（オリンピック出場者で構成する「特定非営利活動法人日本オリンピック協会」があり次世代のオリンピックの育成事業などを行っている。千葉建郎氏は会員。）

青山史朗氏(中40回)を偲ぶ会  
鈴木 壮夫(高11回)

新しき知識を求めて止まぬもの北杜の絆に光あれかし

青山先輩は昨年十一月五日にご逝去されました。九十三才と十一月の人生でした。昭和五十年(一九七五年)に「北杜会」を立ち上げられ、四十年の長きにわたって実りあるセミナーの継続に努力されました。青山先輩は常々「北杜会」こそ我が命の源泉、私の人生を豊かにしてくれた。北杜会に対しては計りしれない程の感謝の気持ちでいっぱいだ。との心境を語っておられました。

北杜会を立ち上げて長きにわたって継続の為に尽くされた青山先輩のお陰で、我々会員は同窓会ならではの親密な雰囲気の中で有益な時間を過ごすことが出来ております。

ご命日からほぼ百日目にあたる二月十三日に青山先輩を偲ぶ会を開催致しました。この日は第三三二回の北杜会でした。当時は山川氏氏(中39回)、和賀井敏夫氏(中42回)の両大先輩をはじめ、仙台から大井龍司同窓会長もご参加いただきました。またご子息の青山雅一様には「父の思い出」を語っていただきました。北杜会とはご家庭でも大きな存在だったと

のこと、聞いている私達の胸に染みるお話でした。九十歳を超えられたとはとても思えない程、ご壮健な山川、和賀井両大先輩の青山さんを偲ぶ言葉には、さらに胸が熱くなり、青山先輩のご意志を継いで北杜会を四〇〇回、五〇〇回と続けていかねばと覚悟をさせられました。そして大井同窓会長の「偲ぶ会」を引き締めると共に、今後の活動に指針を与えて下さいました。

当日の参加者は三十人程でしたが、全員が亡き先輩を惜しみ功績を讃える言葉を述べました。最後に気持ちをこめて校歌を斉唱し、高らかな歌声にのせて青山先輩を送りました。形式にとらわれない質素な偲ぶ会でしたが参加者全員心のこもった心に残る会にすることができました。

楨 有恒と仙台  
千葉 正道(高14回)

二〇一六年は、仙台市出身の楨有恒さん(中11回)が日本隊の隊長としてマナスル(八一六三m)に初登頂して六十一年の記念の年であり、その足跡をたどって見た。

楨有恒さんは、一八九四年(明治二十七年)仙台市生まれ、宮城県師範学校付属小学校、仙台第二中学校(現 宮城県仙台第二高等学校)を経て一九一一年、慶應義

塾大学予科に進学する。一九一四年に日本山岳会に入会し、翌年慶應義塾山岳会を結成している。一九一七年、慶應義塾大学法学部を卒業し、米國コロンビア大学に留学する。一九一九年から二年間ヨーロッパで過ごす。最初は兄智雄のいたロンドンに行き、ウェエストーン師のアドバイスもあり、スイス、グリンデルバルトを本拠にアルプスを登山した。一九二一年アイガー東山稜を地元のガイドとともに初登攀し、帰国する。一九二五年、早川種三らとともにカナダアルバータ山初登頂したが、その際細川護立侯爵から預かった銀のピッケルを山頂に立てて下山した。一九四四年、日本山岳会会長に就任した。一九五六年(昭和三十一年)ヒマラヤの未踏峰のマナスル登山隊長として、五月九日、十一日初登頂に成功した。同年七月十六日仙台市名誉市民に推戴され、文化功労者にも選ばれた。

楨さんは、仙台とのつながりについて、彼の著書で次のように述べている。(原文のまま)  
“小学校四年生のとき、父は東京に転勤になった。このとき、学校を余り転々するのはよくないと両親の考えから、兄と私は仙台の叔父の家に預けられることになった。兄は脚氣を患ったため間もなく両親の許に帰り、私独り残って、附属小学校から第二中学



ベルナーオーバーラントの三山  
(左からアイガー、メンヒ、ユングフラウ)

校へと進んだ。叔父の家は、仙台市の西北隅の山に近い場末にあって、学校も目と鼻の間であった。今は道も舗装された住宅街に変わったが、そのころは家もまばらに、畑や林の多い土地であった。家の前の小川にはフナもいたし、道の両側は春には野バラの花盛りであった。近所の寺の森には狐がいて、冬の夜などにはよくその声を聞いた。私の日常は町の繁華なところとは縁もなく、仲間との遊び場は自然に近くの野山であった。この遊び場は仙台の西と北に連なる丘陵地帯で、北山とか伊勢堂山とか台ノ原とかいわれ、標高二〇〇メートル前後のものに過ぎないが、林あり、川あり、原ありと変化に富み、その奥は次第に山が大きくなって奥羽山脈にまで続く山波である。この広大な自然の

遊び場は今から思えば贅沢なものであった。”

“そのころの仙台は、杜の都といわれ、大変美しい都会でした、木が多く、美しい広瀬川が流れ、あたりを山にかこまれた仙台は、有名な詩人、土井晩翠先生の詩そのままの、自然にめぐまれた都市でした。森や林も、そのときどきの、小鳥のうた、秋の夕べの虫の声など、春夏秋冬、いつも自然の美しい所でした。”

“仙台での山歩きの思い出に残る一つは泉ヶ岳登山であった。この山は仙台の西北方にそびえる市内のどこからでも見える。奥羽山脈、船形山から東南に派生した山脈の一番はじに立って仙台平野を見おろしている。標高一二〇〇m 足らずの山ではあるが、おおらかな裾を引いて立つ姿はいつも清新で第二中学校の校歌にも歌われている。今日では、仙台のレクリエーションの山となって青少年の登山やスキーで賑わっているが、その頃は登る人もなく、また登ってみて路さえなかった。”

“とにかく、山にいくたのしみを、私は仙台でしっかり育てられたのです。中学校をおわった私は、東京の慶應義塾大学に学びました。ここにおられた鹿子木員信先生は、私にとってわすれられない先生でした。鹿子木先生は、ドイツのイェナ大学に留学された人ですが、スイスのアルプスの山を

あるいてこれられ、そのときのことを“アルペン行”と題して“日本および日本人”という雑誌に発表された人です。鹿子木先生を中心に、私たち三、四人の友人が集まって山岳会をつくり、熱心に山について語りあったり、夏休みには日本アルプスに隊をくんでのぼったものでした。どんなことがあっても、まいった！といわないこの山岳会の強い精神も、鹿子木先生に教えこまれたものです。やがて、私は日本山岳会に入会しました。”

榎さんの生誕地は、仙台市北七番丁(現 柏木)で現在は教会の東隣りだということが、宮城支部の三宅会員の長年の調査研究により最近判明した。

筆者は中学時代から山に親しんでいるが、高校のときの創立記念日に、マナスル初登頂の記録映画(マナスルに立つ)を鑑賞し、山頂で隊員が日の丸を振っていたことを憶えています。高校時代に泉ヶ岳、蔵王に登っているがその後も暇を見つけて登山を楽しんでいました。少し余裕のできた五十歳の時に山岳ガイドの指導でクライミングを始め、日本山岳会宮城支部に入会しました。六十歳ころから、仕事の合間に海外の山にも足をのぼし、ヒマラヤ、アルプスのトレッキング、登山を楽しんでいます。

二〇一四年七月、古稀記念登山のためスイス、グリーンデルバルトに滞在し、山岳ガイドのサポートでメンヒに登頂しましたが、ユングフラウは雪崩の危険があり断念しました。その際、グリーンデルバルトの博物館に行きましたが、若き日の榎さんがアイガー東山稜を地元のガイドとともに、初登頂し無事帰還した時の写真が掲げられていました。

榎さんの顕彰碑は未だないので、北九州市に記念碑が唯一あるということで、二〇一五年五月学会の帰りに寄ることにしました。あらかじめ連絡していた日本山岳会北九州支部の丹下夫妻の案内で、門司区にある清滝公園登山口から風師山(かざしやま)に向かいました。自然歩道を登り約一時間で風師岩頭(かざしがしら)



若き日の榎有恒(左から2番目)



榎有恒の記念碑と略歴碑

に到着。眼下に関門海峡と下関、巖流島を望む風光明媚な場所でした。昭和三十三年十月、榎さんがマナスル登山の報告会のため九州に来た際、この山に登り墨跡を残されました。

“この頂きに立つ 幸福の輝きは これをとらふる 術を知りし山人たちの 力によるものなり 昭和三十三年十月 榎有恒”

この歌碑があり、更に平成二十六年に建立された略歴碑も傍らに並んでいました。宮城支部も遅ればせながら、生地仙台に顕彰碑建立すべく模索しているところです。

参考文献  
榎 有恒 わたしの山旅(岩波新書)  
榎 有恒 ピッケルの思い出(学習研究社)  
山森欣一 顕彰碑にみる人物登山史  
(日本山岳文化学会)

千葉正道 グリンデルバルトと横有恒  
(仙台市医師会報)  
三宅 泰 大登山家への小さな旅  
—横有恒の生誕地をたずねて—

### 手作り小冊子

#### 『華の40年卒』

今野 秀彦 (高16回)

「：青春時代が夢なんて あとからほのぼの想うもの：」 トップギャランが歌った「青春時代」の一節である。夢中で走り過ぎた二高時代を、古希を迎えた今振り返ってみると、わずか三年間の短い期間にすぎないがいつまでも抱きとめておきたい大切な輝くひと時であったように思われる。思い出すすべては仲間とともに明け暮れたバスケットボールで占められるのであるが、幸運にも県代表としてインターハイに、そして東北代表として国体にも出場できた。そこには豊かな思い出と確かな仲間を得た思いがある。しかし卒業が東京オリンピックの年であったから、もう半世紀も前のこと、忘れかけたことや不確かなことも多くなってきた。そんな中で有難いことに、一昨年の六月に仙台二高バスケットボール部『華の40年卒』が刊行された。一学年後輩の諸氏が広瀬清君を中心に、足掛け三年に及ぶ粘り強い努力の結果仕上げたもので、A4判の一一〇頁からなるバスケットボール部三

年間の思い出を綴った手作りの小冊子である。互いの手元に残っていたとされる古くて懐かしい多くの資料をもとに編集され、それに『造型』、『二高百年史』、『バスケットボール部北陵会50周年記念誌(平成十三年十二月発行)』、『仙台二高新聞』、『河北新報』などの当時の出版物も参考資料として引用されているだけにしっかりと内容となつている。輪番制で書いた『部誌』の色あせした写しがあり、そこには毎日の練習内容や各部員の拙い意見なども見ることができ、多数の写真とともに思い出を刺激する。また、三年間の全ての公式戦が記録されており、前半と後半の得点に悪評としての新聞記事が併記されているのも嬉しい。「思い出の記」の章では多くの小説が綴られているが、そこには当時の社会背景もさりげなく配置されており、小説が生き生きとよみがえってくる。

本誌を読んで改めて再確認できなかった思い出がある。それは、昭和三十八年六月三日(月)総体最終日、「涙の説得」の一戦である。全ての予定が終わり、残っているのは一高相手の我々の決勝戦のみとなつていた。多くの仲間が会場いっぱい応援が集まつてくれた。しかし試合開始直前になり当時の小坪洋校長は授業を放棄しているとして全員帰校を命じた。校長命令に納得できずに留まる多数の仲間を前に、張りつめた雰囲気の中、応援団長、生徒会長が涙しながらに帰校を促し、「：必ず勝つから：：：」と説得した仲間数百名はしかし、そのまま図書館に校内謹慎処分となつてしまった。新聞にも報道され、巷でも話題になったことがある。回りを全て一高応援団に囲まれての試合であったが、点差が大きく開いて勝利した。緊張したあの時の光景、感覚が感激を伴って再び浮かび上がってくる。

### PTA同窓の 司会を担当して 小野寺征博(高39回)

思い出をたどると、仲間と一緒に夢中になつていたあの時期は、確かにあとからほのぼのと思うものではあるが、しかしそればかりではなく、そこにはその後の歩みにとつてとても大切なものが含まれていたことを改めて思い起こすのである。それを確認させてくれるのがこの手作りの小冊子である。

39回生は今年で卒業から三十年が経ち、同窓会の幹事担当になります。しかしながら、私を含めほとんど39回生が、同窓会に関わることなく過ごしてまいりました。そのような中、私が昨年、新しい仕事をすることになった折に地元二高の先輩にご挨拶と仕事のご相談に伺ったところ、同窓会の先輩たちをご紹介いただき、総会にも出るように勧められました。卒業後、初めて総会に出させていただきましたが、部活で指導いただいた先輩や、顔見知りの先輩・後輩たちに会うことができ、懐かしさも新鮮な気持ちになりました。そして、今までどうして出なかつたのだろう、という後悔と、なぜ39回生は私だけなのだろう。という寂しい気持ちになったことが思い出されます。

同期とは、たまに集まって飲んだりはしていましたが、ごく少数の仲間うちのことであり、同窓会とは無関係でした。そこで、これを機に同期の輪を広げていき同窓会にも参加するようにとの思いで、当時の先生にも来ていただき39回生の仙台地元の会の「感謝の会」を作りました。毎回集まる人数も増えていき、旧交を温めるのにはとても良い機会になりました。そして、先日のPTA同窓会に際しては幹事として司会の大役を務めることになりました。私どもとしては、はじめに盛り上げようと、一生懸命に考え練習して臨んだつもりですが、つい高校時代の感覚に戻って余計なことをしてしまい、アトラクションではかなり滑ってしまいました。決してふざけていたわけではなく、P(ペアレンツ)とT(ティーチャー)と同(同窓会)が、幹事のもとに集まって一緒に二高を盛り上げま

しょう。という気持ちであったことをここで改めて、言い訳させていただきます。会は、27回生の先輩方や親しい同期や後輩などの力添えもあり、何とか無事に終えることができました。

このように、わずか一年弱の間で様々な人と出会い、再会し、普段できないような経験をさせていただきました。たくさんのご協力や助けをいただきながら感じたことは、二高のネットワーク、コネクションは素晴らしく、すごいものだということ。それと、女性の後輩に初めてお会いしましたが、はきはきとして、はつらつとして、とても頼もしく思いました。これも、大きな収穫でした。

様々な分野で活躍されている先輩方や後輩の考え、生き方に触れる機会も多くなり、自分の視野の狭さや、偏った考え方への戒めになりました。これは、自分の業界の中で閉じこもっている限り、得難いものではないでしょうか。まったく知らない人間を、温かく迎え入れ、教えや助けをいただけるのは、同窓会ならではの、それも、二高ならではのことだと思えます。

今後この伝統を絶やさないことがないよう、まったくの微力ではありますが、頑張っていく所存です。まずは、七月に総会があります。多数のご参加をいただけますよう、お願いいたします。

## 創立記念講演会

二高入学からの  
四半世紀を振り返って

上智大学外国語学部フランス語学科准教授

伊達 聖伸氏（高45回）

創立記念日の講演会にお招きいただきありがとうございます。卒業生として非常に名誉なことです。ただ、私は「不惑」の齢を過ぎていろいろなことに惑わされています。そんな人間に講演をさせてみようという気を起こしたのは、この三月まで二高におられた渡邊幸雄前校



長先生です。その大胆さに敬意を表するとともに、本日温かく迎え入れてくださった長島勝彦校長先生はじめ教職員のみなさんの寛大さに感謝いたします。今日は実に久しぶりに二高の敷地に足を踏み入れました。最大の違いは、やはり男子校から共学になったことです。しかし、共学化しても、

二高文化の根幹は変わっていない印象です。去年の『造型』を拜読し、二高生の生態や世界観の連続性に驚きました。

高校時代は柔道部でした。あまり強くなかったですが、塩地区の五五キロ以下級で三位になり、当時の牛田敏校長先生からこの講堂で賞状をいただいたのはいい思い出です。一高との定期戦では一勝もできませんでし

た。同学年にめっぽう強いのがいて、のちにプロレスラーになりましたので、勝てなかったわけです。

東大文IIIに現役合格しましたが、二高で常にトップクラスというわけではありませんでした。入学後最初のテストでたしか二〇番台で、当時担任の三浦恭先生からどこでも狙えると言われ、いくらか志を高く持ちました。三桁あたりまで落ち込んだこともあり、部活を途中でやめることも考えましたが、顧問の渡辺幸治先生に叱咤激励されて続けました。三年の担任だった坂井孝次郎先生からは「人生は一本道よりも曲がりくねった道のほうが豊か」と言われて心に響きました。在校生のみならず、のちのちまで効いてくる経験の日々積み重ねていると思います。その重みを受け止めて、自分や友達や先生を大切にしてください。

大学では応援部に入りました。二高出身であったために、応援に対する抵抗感がなかったでしょう。三年次には宗教学を専門分野に選びましたが、応援部をやっていたことが大きかったです。応援部の文化は特殊で、まるで「宗教団体」なのです（笑）。応援するけれども、なかなか勝ってくれない。これ

はウェーバーの神義論のテーマに通じます。応援していると普段の知らない自分が出てきます。これはデュルケムの集合沸騰論です。応援部の厳しい規律は、世俗の時代の規律訓練について論じたフーコーを連想させました。

就職するかどうかは迷いましたが、曲がりなりにも最高学府を出て、こんなにもを知らなくてよいのだろうか、大学院に進みました。修士課程で取り組んだのは、旧制一高（今の東大教養学部）の教養と宗教というテーマでした。今振り返ると、いかにも仙台二高を出て学部時代は応援部だった人間の書いた修士論文でありました。

高校生活と大学生活の断絶、応援部に打ち込んだ学部生時代と論文作成に明け暮れた修士時代の断絶に続き、第三の断絶は日本研究からフランス研究に重心を移したことです。二八歳から五年間リールに留学し、一九世紀の道徳と宗教の関係についての博士論文を書きました。フランスに暮らして学んだことの第一は、普遍主義です。外国人だからと差別された覚えがほとんどなく、人権宣言の国だけのことはあると思えました。第二に、民主主義です。高校生もデモをして、政府が法案を取り下

げたことがありました。第三に、社会主義です。フランスの社会主義は今では見る影もないと言われますが、社会保障の手厚さが印象的でした。第四に、共和主義です。共和国とは、身分や人種や宗教などの社会的属性を捨象した個人が、市民として政治参加することによって開かれる討議空間のことで、フランスの距離を感じました。そして、フランスの言語と思想と価値観を若い日本人に教えることは大いに意義があると思うようになりました。

若いみなさんには、やがて自分が専門的な仕事をするようになって、それに打ち込むことを基本としつつ、視界狭窄に陥ることのないよう他分野にも興味を持ってもらいたいと思います。そして、現代起こっている出来事を社会の文脈に応じて理解すると同時に、それを自分たちの問題としても考える習慣をつけてください。現代は伝統からの断絶が加速しています。危機の時代ですが、希望もあります。過去を担って未来を切り開くことがみなさんの肩にかかっています。私も創立記念日の講演者としては比較的若手ということで、まだまだ頑張りたいと思っています。

## 支部・OB 会連絡先

## ● 支 部

団体名称	代表者	事務局(連絡員)	事務局連絡先
N・Y支部	旦 英夫 (高20)	旦 英夫 (高20)	8 Heritage Lane, Rye, New York 10580 USA, 914-921-0771
ローマ支部	武藤 順九 (高20)	武藤 順九 (高20)	Via del Caravaggio, 20 00047 Marino Roma, ITALIA
北海道支部	若生幸一郎 (中43)	上田 俊朗 (高15)	登別市常磐町1丁目14-3 0143-85-2729
青森支部	新山 龍治 (高22)	新山 龍治 (高22)	青森市緑2-15-8 017-774-1009
岩手支部	鈴木 恒男 (高5)	橋浦礼二郎 (高23)	盛岡市西松園1-9-2 019-662-7028
山形北陵会	仙道富士郎 (高9)	栗野 学 (高26)	山形市旅籠町3丁目2-3 023-631-0001
福島北陵会	阿部 力哉 (高3)	益田 芳幸 (高3)	福島市丸子字沢目17-2 024-554-5920
在京同窓会	上条 努 (高24)	赤井澤勝己 (高23)	千葉市若葉区みつわ台 1-27-1-B-304
東海北陵会	千葉 善根 (高9)	佐山 泰弘 (高10)	愛知県知多郡武豊町平井6-39 0569-72-4032
関西同窓会	麻喜 宏雄 (高9)	川幡 公章 (高26)	兵庫県姫路市飾磨区英賀保駅前町72ブリート202 090-7716-3643
広島支部	奥田 幸造 (高12)	佐藤 均 (高17)	広島市西区庚午中4-5-8-301 082-275-1269
気仙沼支部	移川 二郎 (中36)	移川 二郎 (中36)	気仙沼市松崎柳沢216-5 0226-22-6685
志津川支部	高橋 長偉 (高11)	高橋 長偉 (高11)	本吉郡南三陸町志津川十日町1 0226-46-2041
石巻・桃生・牡鹿支部	菅原 憲 (高8)	後藤 宗徳 (高29)	石巻市千石町2-10 石巻グランドホテル気付
加美郡支部	有馬 恒彦 (高18)	大山 匡 (高23)	加美郡加美町字北町2-181-1 0229-63-3054
塩釜北陵会	大平 眞悦 (高18)	中村 賢一 (高17)	塩釜市尾島町1-15 022-362-3226
黒川北陵会	大友 正隆 (高16)	大友 正隆 (高16)	黒川郡大郷町羽生字原畑27-2 022-359-3222
岩沼支部	四倉 政美 (高10)	四倉 政美 (高10)	岩沼市桜2丁目1-15 090-3755-6555
亘理会	山田 芳廣 (高9)	山田 芳廣 (高9)	亘理郡亘理町字五日町19 0223-34-5347
角田支部	未定	湯村 周一 (高22)	角田市角田字町65 0224-63-1331

## ● 職 域

団体名称	代表者	事務局	事務局連絡先
仙台市役所北陵会	谷口 秀樹 (高27)	砂子田 順 (高58)	〒980-8671 青葉区国分町3-7-1 仙台市総務企画局 人材育成部労務課 022-261-1111 (内)2222
宮城県庁仙台二高養賢会	正木 毅 (高29)	野呂 秀樹 (高42)	〒980-8570 青葉区本町3-8-1 宮城県国際経済交流課 国際交流第二班 022-211-2277
仙教委北陵会	郡山 孝幸 (高25)	東海林恵吾 (高28)	〒982-0014 太白区大野田六反田10-5 大野田小学校 022-247-6654
藤崎北陵会	松原 大介 (高27)	星 史雄 (高37)	〒980-8652 青葉区一番町3-2-17(株) 藤崎 人事部労務担当 022-261-5111
宮齒二高会	太郎丸 浩 (高17)	角田 哲 (高26)	つのだ歯科医院 022-281-4182
北陵ドクター倶楽部	山崎 匡 (高12)	鶴飼 克明 (高28)	仙台医療センター消化器内科 hokuryo.dr@gmail.com

## ●クラブ

団体名称		代表者	事務局	事務局連絡先	
青葉倶楽部	硬式野球部	岡崎 正之 (高28)	谷田部達博 (高41)	〒981-3211 仙台市泉区長命ヶ丘東5-4	022-778-3977
仙台二高 軟式野球部OB会	軟式野球部	岩田健太郎 (高49)	岩田健太郎 (高49)	〒981-0942 仙台市青葉区貝ヶ森3-29-25	022-278-1422
仙台二高 ハンドボール部 北陵会	ハンドボール部	菅間 進 (高21)	中鉢 貴省 (高48)	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-12-12 GMビルディング9F	022-796-9411
仙台二高 バスケットボール部 北陵会	バスケットボール部	西嶋 康雄 (高21)	佐藤 宣男 (高16)	〒981-0961 仙台市青葉区桜ヶ丘1-3-15	022-278-7458
仙台二高 バスケットボール部 東京北陵会	バスケットボール部	太田 一彦 (高23)	遠藤 英司 (高38)	〒165-0035 東京都中野区白鷺3-22-7-117	080-1133-3072
仙台二高 サッカー部OB会	サッカー部	菊田 久 (高25)	菊田 久 (高25)	〒963-0006 仙台市宮城野区白鳥2-26-24	022-258-2287
仙台二高ラグビー部 OB会	ラグビー部	本吉 和康 (高11)	桂島 猛 (高34)	〒981-3332 富谷町明石台5-41-1	022-776-1364
北陵騎士の会	フェンシング部	小栗 康次 (高13)	秋保 茂樹 (高32)	〒021-0866 岩手県一関市南新町55	0191-32-5105
	ヨット部	未定	奥野 誠也 (高22)	〒981-1304 志田郡松山町千石本丸49桃源院	090-6149-0002
仙台二高スキー部 北陵会	スキー部	前田 弘毅 (高28)	斎藤 雅人 (高34)	〒981-0953 仙台市青葉区西勝山7-2	022-719-3282
仙台二高陸友会	陸上競技部	宮崎 幹男 (高12)	加瀬 延男 (高16)		022-287-3901
仙台二高北陵柔道会	柔道部	佐々木優登 (高16)	鈴木 裕 (高27)	〒984-0836 青葉区新坂町3-19	022-271-3682
仙台二高剣道部 OB会	剣道部	菅野 敦 (高41)	堀之内優樹 (高44)	〒989-0225 白石市東町2-5-28-102	0224-25-9924
仙台二高弓道部 OB会	弓道部	中村 光雄 (中42)	山口 哲男 (高20)	〒980-0804 仙台市青葉区大町2-15-40	022-223-1618
仙台二高OB山の会	山岳部	三浦 康宏 (高31)	三浦 康宏 (高31)	〒981-3362 富谷町日吉台1-3-2	022-358-9452
仙台二高 バドミントン部OB会	バドミントン部	未定	穴戸 義一 (高22)	〒981-0952 仙台市青葉区中山7-14-8	022-278-4448
仙台二高 卓球部北陵会	卓球部	金子 榮 (高2)	鈴木 登 (高17)	〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ谷東3-14-19	022-252-4216
バレーボール部 北陵会	バレーボール部	佐野 崇 (高4)	阿部広太郎 (高40)	〒982-0011 仙台市太白区長町3-4-16-1001	022-308-3551
宮城県 仙台第二高等学校 合気道部同窓会	合気道部	岡崎 信 (高20)	吉田 信彌 (高22) 進藤 遼 (高60)	〒980-8631 仙台市青葉区川内澱橋通1番地 宮城県仙台第二高等学校 合気道部顧問担当教諭気付	022-221-5626 (仙台二高) 0224-25-0024
仙台二高 空手部OB会	空手部		渡辺 秀樹 (高56)		
仙台二高応援団 幹部OB会	応援団	田中於菟彦 (高15)	田中於菟彦 (高15)	〒986-0912 仙台市青葉区天守台 青葉城本丸会館	022-222-0218
二吹会	吹奏楽部 (ブラスバンド部)	龍田 正隆 (高11)	但木 均 (高22)	〒981-0912 仙台市青葉区堤町1-1-1-1201	022-717-3507
	演劇部	西條 昭将 (高15)	西條 昭将 (高15)	〒191-0053 東京都日野市豊田2-3-12	042-583-4997
	写真部	伊勢 隆一 (高19)	伊勢 隆一 (高19)	〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-6-32	022-222-1720

※他の運動部、文化部の情報をお寄せください。

【連絡先】 仙台二高同窓会事務局 〒980-8631 仙台市青葉区川内澱橋通1  
TEL/022-221-5651 FAX022-221-5686  
Eメール/qqnt4329@wonder.ocn.ne.jp  
同窓会ML/nikodousokai@googlegroups.com(詳しくはp32)

平成28年度 年間行事予定

4月26日	火	大運動会(活動助成)	仙台二高校庭	
5月2日	月	創立116周年記念講演会 上智大学准教授、宗教・歴史学者 高45回 伊達 聖伸 氏	仙台二高講堂	13時15分
5月8日	日	対一高同窓会ゴルフ対抗戦	東蔵王ゴルフ倶楽部	
5月14日	土	定期戦祝勝会	K O B O スタ宮城	16時00分
5月18日	水	当番回期第一回打ち合わせ会(高27、28、39、40、51、52回)	北陵館	19時00分
5月21日	土	第一回評議員会	江陽グランドホテル	17時00分
6月1日	水	同窓会報第49号発刊		
6月15日	水	当番回期第二回打ち合わせ会(高27、28、39、40、51、52回)	北陵館	19時00分
7月9日	土	校内ツアー	仙台二高	15時00分
7月9日	土	総会 講演会 演題 山の楽しみ方と世界名峰登山 講師 郡山裕之氏(高27) クラブ活動後援会への寄付	江陽グランドホテル	17時00分
9月3日 9月4日	土 日	北陵祭(同窓会ブース開設)	仙台二高	
11月16日	水	当番回期・P T A 合同第一回打ち合わせ会(高28、29、40、41、52、53回)	北陵館	18時30分
12月1日	木	ニューズレター第3号発刊		
12月14日	水	当番回期・P T A 合同第二回打ち合わせ会(高28、29、40、41、52、53回)	江陽グランドホテル	18時30分
1月12日	水	当番回期・P T A 合同第三回打ち合わせ会(高28、29、40、41、52、53回)	北陵館	18時30分
1月20日	金	P T A 同窓会合同懇親会	江陽グランドホテル	18時00分
2月28日	火	同窓会入会式	本校講堂	10時00分
理事会開催(4/20、5/18、6/15、7/20、8/24、9/21、10/19、11/16、12/14、1/12、2/15、3/15)			北陵館・画像検診クリニック会議室	

◆定期戦祝勝会やゴルフ対抗戦などのイベントは、時期が近づくとホームページやメール等でご案内をします。また、12月1日に発行予定のニューズレターでもご案内しますので、奮ってご参加下さい。

◆今年度の「総会」は例年(7月の第1土曜日)より1週間遅い開催となりますのでご注意ください。

評議員名簿

回期	氏名
中40	欠員
中41	欠員
中42	和賀井敏夫 南條 信郎
中43	欠員
中44	石井 敏夫
中45	欠員
中46	桃生 和夫
中47	佐々木一弘 坂田 正雄
高1	欠員
高2	朝倉 亮 吉田 敏樹
高3	高橋 正道 安達 剛
高4	毛呂 達夫
高5	小金澤紀光
高6	土岐 満夫 大友 一郎
高7	中谷 義信 藤野 尚之
高8	小山 明恒 後藤 潮
高9	渡辺 和彦 相澤美智雄
高10	四倉 政美 三井 肇
高11	高石 祥二
高12	米竹 隆

回期	氏名
高13	志賀 従興 菅野 昭雄
高14	磐井 裕 笹氣光寿郎
高15	近藤 尚武 松川 好孝
高16	植田 俊之 坂本 正憲
高17	高橋 賢 山田 信一
高18	梅津 珪三 渡辺 康之
高19	庄子 友康 遠藤 謙治
高20	半田 賢 中島 俊和
高21	内藤 清秀 吉田憲三郎
高22	菊田 健三 熊谷 晴樹
高23	大友 史祥 小野寺満明
高24	沼倉 和彦 二本柳 基
高25	斎 基之 原 敏紀
高26	木村 清 角田 哲
高27	鈴木 裕

回期	氏名
高28	岡崎 正行 鶴飼 克明
高29	稲辺 和彦 永見 幸久
高30	渡邊 善夫
高31	太田 康裕
高32	和賀 久佳
高33	松谷 秀則 結城 道広
高34	平野 豊 千葉 敏彦
高35	菊地 徹 今野 明典
高36	柳 雅裕 首藤 雅浩
高37	天江新太郎 木村 光博
高38	長谷川清人
高39	日下 開
高40	大久 耕
高41	菅沼 恵一 利 大作
高42	中久喜英夫
高43	渡邊 勝宏
高44	田所 直希
高45	花本耕之助
高46	小野 光利
高47	八谷 豊
高48	大張 慎悟

回期	氏名
高48	武田 力也
高49	落合 和希 高田 雄史
高50	橘 大介
高51	平山 雅史
高52	欠員
高53	栗原 慶太
高54	三嶋 廣人
高55	千葉 祐介
高56	武藤 卓
高57	京極 自源
高58	相場 峻
高59	蔡 優広
高60	柴又 賢史
高61	日置壮一郎
高62	添田 敏寛
高63	佐久間俊平
高64	深松 栞 徳永 航平
高65	佐渡 恵奈 佐藤 泰史
高66	鈴木 小夜 坂元 宏司
高67	鈴木 麻優 齋藤 樹
高68	舟生佳奈子 大山 遼

◆評議員が2名制になっています

平成25年度の総会後から、各回期の評議員が2名となりました。まだ選出されていない回期の方は、お早めに選出いただき、事務局までご一報下さい。

# 評議員会 報告

平成二十八年第一回評議員会  
平成二十八年五月二十一日(土)  
十七時)

◇会長挨拶 大井会長

◇議長選出 岡崎 正行氏(高28回)

◇協議

第一号議案

二十七年事業報告(承認)

第二号議案

二十七年収支決算報告・監査  
報告(承認)

第三号議案

二十八年事業計画案(承認)

第四号議案

二十八年収支予算案(承認)

第五号議案

役員改選・補充

◇連絡・報告

・ホームページのリニューアル等

# 理事会等 記録

平成二十七年五月十三日(水)

・第一回評議員会の議案・運営

・会報編集の進捗状況

・総会準備の進捗状況

平成二十七年六月十一日(木)

・第一回評議員会の議案・運営

・会報編集の進捗状況

・岩手支部総会報告

平成二十七年六月二十四(水)

・総会の議案・運営

・巨理支部総会報告

・仙台市役所北陵会総会報告

平成二十七年七月三十一日(金)

・新旧役員引き継ぎ・役割分担

・総会・懇親会の総括

・北陵祭同窓会ブースの運営

・県庁養賢会総会報告

・山形北陵会総会報告

平成二十七年八月十九日(水)

・総会費用のあり方

・理事会の委員会構成

・北陵祭の同窓会ブースの運営

・北陵ニュースレター

・岩沼支部総会報告

・北陵ドクター倶楽部総会報告

平成二十七年九月十六日(水)

・北陵祭同窓会ブース運営の総括

・北陵ニュースレター進捗状況

・HPの更新

・PT同窓の運営

・同窓会旗の申し込み状況

平成二十七年十月十四日(水)

・PT同窓の運営

・HPの更新

・ニュースレター進捗状況

平成二十七年十一月十一日(水)

・HPの更新

・ニュースレター進捗状況

・PT同窓の運営

・在京同窓会総会報告

・東海支部総会報告

平成二十七年十二月十六日(水)

・HPの更新

・PT同窓の運営

・ニュースレター進捗状況

・仙教委北陵会、塩釜支部総会報告

・岩手支部一・二高合同懇親会報告

平成二十八年一月十三日(水)

・PT同窓の運営

・入会式に若手OBの体験談

平成二十八年二月十七日(水)

・PT同窓の総括

・平成二十九年のPT同窓の日程

・同窓会メーリングリストの管理

平成二十八年三月十五日(火)

・次期理事改選

・HPの充実

・創立百二十周年記念行事への取組

・新年度の事業計画

・東日本大震災鎮魂モニュメント制作寄付金

・関西北陵会総会報告

平成二十八年四月二十日(水)

・次期理事改選

・新年度の会務分担

・第一回評議員会の議案

・会報編集

・同窓会費納入減対策

・総会の準備日程

平成二十八年五月十八日(水)

・第一回評議員会の議案・運営

・会報編集の進捗状況

・総会準備の進捗状況

・鈴木勝王氏(高16回)より桜苗

・木ノ寄贈

## 各理事会務分担

H28.5.23

部 門	担 当 理 事	会 務 内 容
総 務	○枅澤 慶悦 鈴木 邦夫 高橋 和男 山田修一郎	会務全般の統括・調整 外部、会員、事務局との連絡調整
名 簿	○高橋 和男 山口 信也	同窓生名簿の作成・管理 名簿作成業者との連絡調整
会報・広報	○関 裕介 山口 信也 阿部 孝一 遠藤 康浩	会報の企画・編集・発行 印刷会社との折衝 公式サイトの管理運営 同窓会各種行事等に関する PR
活 性 化	○前野 文男 山田修一郎 阿部 孝一 遠藤 康浩	活性化に向けての企画・立案 各種行事への会員参加率向上 評議員、常任委員、クラブOB会への働きかけ 会費収入増強
会 計	○鈴木 邦夫 菅谷 俊貴	同窓会費納入状況の点検 日常的な出納業務・決算業務
事務局 長	村上 二郎	
事 務 局	佐々木恵理	

一般会計 平成27年度収支決算報告

(平成27年 4 月 1 日～平成28年 3 月31日)

(単位：円)

区 分	項 目	予 算 額 (A)	実 績 額 (B)	(B) - (A)	28 年度予算案
収 入	前 年 度 繰 越 金	4,163,666	4,163,666	0	3,939,933
	年 会 費	10,200,000	9,296,000	- 904,000	10,200,000
	( 人 数 )	(3,400 人)	(3,095 人)	(△ 305 人)	(3,400 人)
	入 会 金	1,152,000	1,170,000	18,000	1,152,000
	( 人 数 )	(320 人)	(325 人)	(5 人)	(320 人)
	受 取 利 息	1,000	508	- 492	500
	寄 付	0	73,000	73,000	0
	名 簿 等 売 上 高	0	11,400	11,400	10,000
	そ の 他 収 入	100,000	111,888	11,888	100,000
	特 別 会 計 受 入 金	0	0	0	0
収 入 合 計 (C)	15,616,666	14,826,462	- 790,204	15,402,433	
支 出	同 窓 会 報 発 行 費	4,000,000	3,663,396	- 336,604	3,800,000
	( 発 送 通 数 )	(16,000 通)	(14,202 通)	(△ 1,798 通)	(15,000 通)
	同 窓 会 ニュースレター発行費	1,700,000	1,745,578	45,578	1,800,000
	( 発 送 通 数 )	(16,000 通)	(13,991 通)	(△ 2,009 通)	(15,000 通)
	校 内 活 動 助 成 費	1,500,000	1,390,000	- 110,000	1,500,000
	卒 業 記 念 品	550,000	546,962	- 3,038	550,000
	総 会 旅 費 補 助	250,000	135,160	- 114,840	250,000
	総 会 旅 費 補 填	450,000	-52,003	- 502,003	450,000
	( 出 席 者 数 )	(100 人)	(152 人)	(52 人)	(100 人)
	P T 同 懇 補 填	200,000	209,852	9,852	200,000
	( 出 席 者 数 )	(100 人)	(128 人)	(28 人)	(100 人)
	支 部 総 会 等 旅 費	650,000	468,680	- 181,320	650,000
	支 部 総 会 等 祝 儀	350,000	355,000	5,000	350,000
	会 議 費	300,000	290,974	- 9,026	300,000
	慶 弔 費	250,000	195,000	- 55,000	250,000
	人 件 費	720,000	663,583	- 56,417	720,000
	事 務 消 耗 品 費	100,000	119,012	19,012	100,000
	切 手 葉 書 送 料	150,000	99,232	- 50,768	150,000
	電 話 料	350,000	316,411	- 33,589	200,000
	振 込 手 数 料	400,000	353,994	- 46,006	400,000
	設 備 費	200,000	10,000	- 190,000	50,000
	雑 費	300,000	156,794	- 143,206	150,000
	旅 費	100,000	0	- 100,000	
	教 育 問 題 研 究 費	200,000	0	- 200,000	
	同 窓 会 活 性 化 対 策 費	400,000	218,904	- 181,096	1,050,000
	特 別 会 計 繰 入	0	0	0	0
予 備 費	2,496,666	0	- 2,496,666	2,482,433	
支 出 合 計 (D)	15,616,666	10,886,529	- 4,730,137	15,402,433	
繰 越 金	(C) - (D)	0	3,939,933	3,939,933	0
残 高 H28.3.31	現 金 ( 事 務 局 )		9,416		
	現 金 ( 事 務 所 )		367,717		
	普 通 預 金 ( 七 十 七 )		1,049,267		
	郵 便 振 込 ( 泉 南 中 山 )		2,293,533		
	郵 便 貯 金 ( 大 町 )		0		
	仮 払 金		220,000		
	未 払 金				
	総 会 勘 定 差 引 合 計		3,939,933		

特別会計 平成27年度収支決算報告

(平成27年 4 月 1 日～平成28年 3 月31日)

(単位：円)

区 分	項 目	収 支 決 算 額
収 入	前 年 度 繰 越 金	15,398,571
	預 金 利 息	2,849
	収 入 合 計	15,401,420
支 出	旗 製 作 費	1,312,956
	振 込 手 数 料	1,404
	支 出 合 計	1,314,360
次 期 繰 越 金		14,087,060
預 金 等 残 高 H28. 3.31	定 期 預 金 ( 七 十 七 銀 行 )	13,200,000
	普 通 預 金 ( 七 十 七 銀 行 )	887,060
	差 引 合 計	14,087,060

平成二十七年 度

第68回卒業式

三月一日(火)平成二十七年 度 第六十八回卒業式が挙 行され、男 子二〇二名、女 子一二三名の計 三二五名が学 び舎を巣立ちました。 大井会長は祝 辞の中で、「為さ ざるなり。能わ ざるに非ざるな り。」(できな いのは、やろう とし ないからだ。でき ないからではな い。)との孟子の 言葉を紹介し、「今 後、いろいろなこ とに立ち向かうこ とになるが、目標 や夢から逃げ 出したくなった時 には、この言葉 を思い起こして 欲しい。」

また、ちょうど卒業式の日 同窓会N.Y支部会が開催され、大井 会長からメッセージを送ったこと が紹介され、「世界中で活躍され ている諸先輩と身近に接すること によって人生の深さ、広さを拡大 して欲しい。」とはなむけ の言葉を贈られました。



卒業式

平成二十七年 度

同窓会入会式

卒業式の前日の二月二十九日 (月)、大井会長以下理事会メン バーと各回期評議員併せ二十名が 参列して高68回生三二五名の同窓 会入会式が行われました。

大井会長は「同窓会の目的は、 会員の親睦と母校の発展に寄与す ること。これからは皆さんも現役 生を応援する側になり、いまま で の恩返しをする番。母校愛を持 ち続けると共に、同窓会活動に 積極的に参加して欲しい。」と挨拶。 会長から代表の舟生佳奈子さ ん(新評議員)に卒業記念品(電 波時計と卒業証書を入れる筒)が 贈呈されました。 柘澤副会長の概 要説明の後、会長から評議員・常 任委員の委嘱状が交付され、また、 同窓会より同期会の旗が贈呈され ました。代表して新評議員の大山 遼君が「伝統ある二高同窓会に入 会することができうれしく思いま す。同窓生として同窓会の発展に 尽力していきます。」と挨拶しま した。

新しい試みとして、若い同窓生 から同窓会や同期会についての体 験を話してもらいました。モンタ ニヨミチエル ルイス君(高62 回・京大在学中)は「関西同窓会 に参加して、外務省出身の天江会 長さん(高14回)との出会いが留 学やその後の人生を変える大きな

きっかけになった。有名大学を卒 業したというだけでは、人生どう にもならない。同窓会の集まりや いろいろな人と交流することによ り視野を広げて大きく成長してほ しい。」

また、深松 葉さん(高64回・ 東北大卒業予定)は「大学三年 後期から一年間ドイツに留学し た。留学中つらいこともあった が、フェイスブックのやり取りで 同期のみんなが学問に、スポーツ に国内外で頑張っていることがわ かり、それが励みになり、やり切 ることができた。それをきっかけ に今年の一月に64回同期会を立ち 上げた。卒業から四年、同期のみ んなで集まっているいろいろなこと を



新評議員・常任委員の面々 (同窓会入会式後)

話し合い次のステップにつなげた ということ思いからだ。皆さん には二万五千に上る同窓生という 味方がいることを忘れないでほし い。」とエールを送りました。

なお、二人の新評議員のほか次 の六名が常任委員に選任されまし た。

- (常任委員) 吉田 拓真・小松 美緒 西川 智・小林 直裕 佐藤 仁哉・目黒 貴大

平成二十八年度 入学式

四月八日(金)平成二十八年度 の入学式が挙 行され、男子一九五 名、女子一二五名の三二〇名が入 学を許可されました。

長島勝彦新校長による式辞の 後、新入生代表の藤澤篤朗君の力 強い宣誓があり、続いて吉田和哉 P.T.A会長、大井龍司同窓会会長 (高10回)のお二人から祝辞があ りました。大井会長からは、①こ れからの三年間、母校の全人教育 を全うすることによって、強い精 神力と豊かな心を育み、将来、社 会や国家のリーダーとなりうる素 養を身に着けるように。②全国有 数の素晴らしい教育環境をエン ジョイすると共に、その環境を築 くために奔走した第五代校長の河 合絹吉先生(校舎前に胸像)を初 めとする先人に感謝の気持ちを忘

れずに。③論語の「苗にして秀で ざるものあり、秀でて実らざるも のあり」という一節を引いて、本 人の自覚と日々の努力が大切であ るとお祝いと励ましの言葉が贈ら れ、三年後の諸君の成長した姿を 楽しみにしていると結ばれまし た。(理事会)



入学式

在籍生徒数 平成28年 4 月 1 日 現在 普通科 1 学年 8 クラス(定員320名)

1年	321名	男子196名、 女子125名
2年	322名	男子198名、 女子124名
3年	317名	男子188名、 女子129名
計	960名	男子582名、 女子378名

# 定期戦

二高の圧勝！

平成二十八年五月十四日（土）コボスタ宮城において、戦後七十一回目となる仙台二高・一高硬式野球定期戦が開催されました。

当日は絶好の野球日和の中、三回裏に一高に先制を許すものの、四回表にすぐに追いつくと五回には一挙三点を奪って主導権を握り、九回にはだめ押しの四点を追加しました。終わってみれば8-1の快勝で、声高らかに「勝利の歌」と「凱歌」をコボスタの空に響かせました。

これで、戦後の対戦成績は、二高の31勝31負9分になりました。



## 3部・軟式野球定期戦 結果速報

### 試合結果

バレーボール

二高 3-0 一高 <勝ち>

柔道

二高 二高2人残し 一高 <勝ち>

バスケットボール

二高 62-89 一高 <負け>

軟式野球

二高 4-14 一高 <負け>

## 定期戦祝勝会

平成二十八年五月十四日（土）の硬式野球定期戦終了後に、コボスタ宮城内のイーグルスネストにおいて、定期戦祝勝会を同窓会と応援団幹部OB会の合同で開催しました。

今年は一高応援団幹部OB会小林会長（高20回）ほか五名も飛び入りで加わり、参加者は四十名となりました。会の中盤には一高の旗振りで「雨か嵐か」を、二高の旗振りで「二高応援歌一番」を謳い合うなど交流を深めました。

最後は双方の校歌を歌い、一高は雪辱を、二高は連勝を誓い合い閉会となりました。

硬式野球定期戦は、毎年五月の第一土曜日に開催されます。

## 叙勲受章者

平成27年春の叙勲受章者  
(内閣府)

瑞宝小綬章

仙台二高第19代校長

佐藤 三之殿 (高14回)

## ゴルフ対抗戦開催

五月八日（日）一高・二高同窓会ゴルフ対抗戦が東蔵王ゴルフ倶楽部において開催されました。今回で四回目となりますが、新緑の下、一高三十五名・二高四十二名総勢七十七名で盛大に執り行われました。

上位十名ずつで争われる団体戦は、現在二高の三連勝中ですが、今年も見事にクロス900対916で二高の勝利となりました。この勢いで、来週行われる硬式野球定期戦で現役諸君にも頑張ってもらいたいと思います。

ベスグロは84で二高23回の小野寺満明氏が獲得されました。優勝

は、ハンデイに恵まれ一高11回の早坂次郎氏となりました。来年は二高の五連勝をめざし仙台カントリーで五月に執り行われることとなります。



## 同窓生からの寄贈本の紹介

- 『志賀直哉全集』『寺田寅彦全集』
- 『坂口安吾全集1、2、7、9巻』 高橋 三郎様 (高17回)
- 『花野抄』15集 加藤 邪吞(文彬)様 (高11回)
- 『我が生い立ちの記 青春編』 布施康二郎様 (高12回)
- 『黙して大地に書く』
- 『満州国と興農合作社 満州農業近代化に貢献した人々』 坂本進一郎様 (高11回)
- 『歌仙 両吟 眉毛 嚙下』 井上 功様 (高10回)
- 『青葉の山 広瀬の流れ』 大井 龍司様 (高10回)
- 『やり尽くす。ホシヤマ珈琲店の選択』 阿部 孝一様 (高26回)
- 『夢は里山で』

**【納入方法】**

会報に同封した振込用紙をお使いください。郵便局、銀行両方で利用できます。また下記の銀行口座にお振込みいただいても結構です。その際は振込手数料を差し引いていただき、お名前と卒業回期（あるいは卒業年）をご記入願います。

**【振込先】**

◇七十七銀行 芭蕉の辻支店  
普通口座  
口座番号 ○〇九七八四五  
宮城県仙台第二高等学校 同窓会  
会長 大井 龍司



**会費納入のお願い**

昨年度の会費納入額の目標は、一昨年度と同様に一、〇二〇万円と設定し、会報やニュースレター、メーリングリスト等で納入をお願いしてきました。結果は残念ながら目標に届きませんでした。平成二十二年以降は九〇〇万円を超える納入額で推移しており、特に高60回以降の若手OBの納入が多いことは心強い限りです。

大井会長の体制になってからは、「同窓会の活性化」を目指して「対一高ゴルフ対抗戦」「定期戦祝勝会」「北陵祭同窓会ブースの開設」「ホームページのリニューアル」等々、会員相互の交流を広げる様々な取組を行っています。いうまでもなく、同窓会の運営は会員各位から納入していただく会費によって賄われています。理事会としては、今後も会員各位が参加できる様々な活動を行うべく所存ですので、多くの皆さまに会費を納めていただくようお願いいたします。身近の会員相互にお声かけをいただき、会費納入促進にご協力下さい。

**平成27年度 同窓会費納入状況**

回期	会報 発送数	口数	入金額	回期	会報 発送数	口数	入金額	回期	会報 発送数	口数	入金額	回期	会報 発送数	口数	入金額
中 28	0	0	0	4	153	72	217,000	27	206	42	126,000	50	183	14	42,000
29	1	0	0	5	148	61	183,000	28	184	55	168,000	51	190	14	42,000
30	0	0	0	6	175	78	234,000	29	179	30	90,000	52	182	14	42,000
31	0	0	0	7	135	56	168,000	30	189	43	129,000	53	197	11	33,000
32	1	1	3,000	8	174	60	180,000	31	172	30	90,000	54	220	10	30,000
33	1	1	3,000	9	186	76	228,000	32	212	43	129,000	55	195	18	54,000
34	2	0	0	10	204	89	267,000	33	196	42	126,000	56	210	16	48,000
35	2	0	0	11	210	99	297,000	34	185	28	84,000	57	216	20	60,000
36	1	1	3,000	12	225	82	246,000	35	190	37	111,000	58	218	17	51,000
37	1	0	0	13	191	71	213,000	36	188	33	99,000	59	240	20	60,000
38	3	3	9,000	14	208	91	273,000	37	187	27	81,000	60	253	27	81,000
39	2	1	3,000	15	203	80	240,000	38	174	25	75,000	61	251	23	69,000
40	29	10	30,000	16	209	77	231,000	39	182	23	69,000	62	259	27	81,000
41	26	6	18,000	17	216	75	225,000	40	201	31	93,000	63	274	35	105,000
42	26	20	60,000	18	205	93	279,000	41	197	19	57,000	64	272	40	120,000
43	33	9	27,000	19	174	72	216,000	42	212	12	36,000	65	301	44	132,000
44	51	16	48,000	20	176	58	174,000	43	185	19	57,000	66	284	60	180,000
45	48	21	63,000	21	236	85	255,000	44	181	20	60,000	67	310	62	186,000
46	63	22	66,000	22	259	102	306,000	45	211	12	36,000	回期記載なし	2	6,000	
47	70	21	63,000	23	179	62	186,000	46	202	23	69,000	合計		9,296,000 円	
高 1	77	17	51,000	24	186	58	177,000	47	219	23	69,000				
2	109	38	114,000	25	198	66	201,000	48	214	16	48,000				
3	129	62	186,000	26	200	60	184,000	49	219	16	48,000				

## 平成28年度 同窓会総会のご案内

1. 日 時：平成28年 7月 9日（土） 総 会17時00分（受付開始は16時30分）  
特別講演17時45分  
懇 親 会19時00分
2. 場 所：江陽グランドホテル<<地下鉄南北線広瀬通駅下車 西1番出口徒歩0分>>  
TEL：022-267-5111
3. 懇親会費：5,000円（学生の方は2,000円）
4. 申込締切：7月1日（金）  
★懇親会費は当日、会場でお支払い下さい。  
★出席申込は、下記の申込先へFAX、電話またはEメールでお願いします。
5. 申 込 先：〒980-8631 仙台市青葉区川内澱橋通1  
仙台二高同窓会事務局 TEL 022-221-5651 FAX 022-221-5686  
Eメール qqnt4329@wonder.ocn.ne.jp
6. 当番回期：高27、28、39、40、51、52回
7. 関連企画  
★特別講演  
演題：(仮)「山の楽しみ方と世界名峰登山」  
講 師 郡山 裕之氏  
(高27：登山家、七大陸最高峰登頂者、硬式野球部OB)  
★アトラクション  
ミニコンサート 石川えりな氏（歌手：佐々美喜男氏（高27）の長女）

※今回は、会場の都合で例年（7月の第1土曜日）より1週間遅いのでご注意下さい。

※懇親会の司会は、鈴木 実森氏（高62:女子1回生、鈴木 素雄氏（高27）の長女）です。

**同期の方、クラブの方、お誘い合わせの上、多数ご参加ください。**

### 全北陵ゴルフ大会のご案内

日 時：平成28年10月10日(月)

8:21スタート

場 所：仙台カントリー名取

※56名で打ち切りとなります。

平成二十九年一月二十日（金）に、恒例のPTA・同窓会合同新年懇親会を開催します。  
会場は、例年どおり、江陽グランドホテルで調整中です。  
詳細は、決まり次第ホームページ等で案内する予定です。  
今から日程を空けておいていただけると幸いです。

**PTA・同窓会  
合同新年懇親会  
のご案内**

# 理事会からのお知らせ

## 「大井会長、世界的な医学賞を受賞」

大井会長は、本年五月二十三日に福岡で開催された世界小児外科連合 (World Federation of Association of Pediatric Surgeons) 総会において、「Lifetime Achievement Award」を受賞されました。

この賞は、生涯を通じて小児外科の発展に尽くされた功績を顕彰するものです。本来の功績に加えて、東北地方では初となる宮城県立こども病院の開設へのご尽力も、世界的に高く評価されたようです。この賞は比較的最近創設さ



れたこともあり、現在、世界で二十人程度、日本人小児外科医ではまだ一人のみという大変栄誉ある Award となっています。

## 「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニユメント 建立プロジェクト」への支援報告

理事会では、東日本大震災で犠牲になられた方々の鎮魂と追悼の為に石巻市に整備される「震災復興祈念公園」に設置するモニユメント (高20回の武藤順九氏制作) の建立プロジェクトに対して支援することを決定。昨年の同窓会総会から募金と署名集めに取り組んできました。各支部の総会の折には理事会メンバーが募金箱を携えて伺い、協力を呼びかけました。本年一月のPTA同窓会合同懇親会でも同窓会関連行事も一巡したことから、募金と署名を集約し、建立プロジェクト実行委員長長峯岸良造様 (一条工務店宮城社長) へてお届けいたしました。募金総額は二五四、一一七円でした。同窓生の皆様のご協力に感謝いたします。

なお、武藤さんは一月から制作

に着手し、年内の完成を目指しているとのこと。

【御協力をいただいた支部一覧】  
福島北陵会、県庁養賢会、山形北陵会、岩沼支部、北陵ドクター倶楽部、在京同窓会、東海北陵会、塩釜北陵会、仙教委北陵会

## 北陵祭の同窓会ブース 盛況・今年も出展を

昨年の八月二十九日、三十日に開催された北陵祭に同窓会ブースを開設しました。たくさんのお生や保護者の皆様にお立ち寄りいただき、賑わいました。

「絵本『もんちゃん』の作者の」とよたかずひこさん”って、二高OBだったんですね”  
「同期会に参加したことがなかったけど、写真見るとみんな元気そうですね」  
など新たな出合いの場となり、大盛況でした。

十二名の出展者の皆様、素晴らしい作品をありがとうございました。  
【出展いただいた皆様 (同期順)】  
原田伸正氏 (高5)、阿部三彦氏 (高8)  
奥山隆生氏 (高8)、鈴木隆一郎氏 (高8)  
大井龍司同窓会長 (高10)  
西野陸治氏 (高11)、横山光太郎氏 (高18)  
豊田一彦氏 (高18)、佐藤芳博氏 (高19)  
武藤順九氏 (高20)、木村雅文氏 (高22)  
佐藤浩視氏 (高25)

今年の北陵祭は九月三日四日です。各同期やサークルなどの集合写真、絵画、写真や彫刻などの作品を大募集しています。また、仕事の紹介なども大歓迎です。よろしく願い申し上げます。

## 同窓会旗の贈呈

故菊地喬様 (中46回) のご寄付を原資に、各同期、各支部、各職域・クラブOB会からの申し込みに応じて校章名称入りの「同窓会旗」を製作し、本年一月二十二日のPTA同窓の席上、大井会長より各組織の長に贈呈しました。

製作の内訳は、同期二十九枚、支部、職域等十六枚、クラブOB会二十二枚 (運動部十六枚、文化部六枚) の合計六十七枚です。(当日不参加の団体には郵送)

菊地様には改めてお礼申し上げますと共に、心より感謝いたします。新しい旗印が各組織の活動の更なる活性化に繋がれば、故人のご遺志に沿うものと考えております。なお、予算に若干の残がありますので、製作を希望する組織は事務局までお問い合わせください。

## 桜の植樹

### (鈴木勝王氏より寄贈)

鈴木勝王氏 (高16) より寄贈いただいた二本の桜の苗木を、平成二十八年四月十九日 (火) に南校

地テニスコート脇に植樹いたしました。鈴木氏には平成二十五年五月一日に「二高生の海外飛躍へのヒント」という題で創立記念講話をいただき、生徒は大きな感銘を受けたのですが、母校に残る記念のものを、という申し出をいただきました。今回の桜の植樹ということになりました。

鈴木氏はJAPEN (石油資源開発) の顧問としてジャカルタに在住しており、お忙しい中四月二十八日 (木) に来校され、植樹された桜を確認されました。その後、学校関係者・同窓会・バスケットボール部OBと共に懇親会を行いました。変わらぬ母校愛に触れ、熱い思いを共有することができました。さらに、学校への寄付金もいただき、感謝に堪えません。二高関係者一同 (生徒共々) 感謝の気持ちでいっぱいです。鈴木様、ありがとうございました。



過去 3 年間の大学入試合格状況

( ) 内は現役内数

年度別	28年 3月	27年 3月	26年 3月	
大学	合格者数	合格者数	合格者数	
国立大学	229 (122)	234 (127)	253 (145)	
公立大学	8 (5)	20 (7)	18 (10)	
私立大学	390 (136)	401 (116)	491 (154)	
大学校・専修・その他の学校	4 (2)	7 (1)	3 (1)	
総 計	631 (265)	662 (251)	765 (310)	
小樽商大			1	
北海道大	11 (6)	8 (2)	14 (8)	
室蘭工大		1 (1)		
弘前大	2 (2)	1	6 (3)	
岩手大	5 (4)	6 (3)	6 (6)	
東北大	文	11 (9)	10 (8)	7 (5)
	法	11 (8)	10 (8)	7 (5)
	経済	11 (6)	10 (4)	10 (7)
	教育	5 (4)	3 (2)	2
	理	6 (3)	10 (7)	7 (4)
	工	30 (13)	25 (19)	39 (23)
	医	23 (12)	14 (5)	21 (8)
	保	2 (2)	3 (2)	6 (2)
	歯	7 (2)	8 (4)	3 (2)
	薬	3 (2)	5 (2)	5 (5)
農	7 (5)	8 (7)	9 (4)	
東北大小計	116 (66)	106 (68)	116 (65)	
宮城教育大	5 (2)	11 (7)	5 (4)	
秋田大	3 (1)	1 (1)	1	
山形大	18 (7)	25 (10)	33 (17)	
茨城大	2	1 (1)	2 (2)	
筑波大	4 (2)	2 (1)	1 (1)	
宇都宮大			3 (2)	
群馬大	3 (1)			
埼玉大	3	4 (2)	3 (1)	
千葉大	8 (5)	1 (1)	10 (6)	
お茶の水女子大		1		
東京海洋大			1 (1)	
電気通信大		3	2	
東大	文Ⅰ		2 (1)	2 (1)
	文Ⅱ	1		
	文Ⅲ	2 (1)	2 (1)	1 (1)
	理Ⅰ	3 (2)	12 (8)	7 (5)
	理Ⅱ		1	2 (2)
	理Ⅲ	1 (1)		
	東大小計	7 (4)	17 (10)	12 (9)
	東京医歯大	1 (1)		2 (1)
	東京外語大			2 (1)
	東京学芸大	2 (2)	1 (1)	1
東京芸術大		2 (2)		
東京工業大	4 (2)	4 (2)	1 (1)	
東京農工大	1			
一橋大	9 (7)	8 (7)	6 (6)	
横浜国立大	3 (2)	2		
新潟大	3	5 (2)	3 (2)	
富山大		1		
金沢大			2	
山梨大	1	1	1 (1)	
信州大			1	
静岡大		1 (1)	2	
名古屋大		2		
滋賀大	1 (1)			
京都大	10 (3)	11 (2)	9 (4)	
京都工芸繊維大	1 (1)			
大阪大	1	2 (1)	1 (1)	
神戸大	2		3 (2)	
奈良女子大	1 (1)			
鳥取大	1 (1)			
広島大		5 (2)	1 (1)	

年度別	28年 3月	27年 3月	26年 3月
大学	合格者数	合格者数	合格者数
九州大			1
九州工大		1	
熊本大			1
宮崎大	1 (1)		
国立大学合計	229 (122)	234 (127)	253 (145)
釧路公立大			1
札幌医科大	1		
岩手県立大		1	
宮城大	2 (2)	6 (3)	4 (3)
国際教養大	1 (1)	1 (1)	1 (1)
山形県立保健医療大			1 (1)
山形県立沢田養大	1 (1)		
福島県医科大	2 (1)	3 (1)	3
前橋工大			1 (1)
高崎経済大	1	2	1
首都大東京		1	
横浜市立大		2 (1)	1 (1)
金沢美術工芸大			1 (1)
都留文科大		2 (1)	
静岡県立大			1
滋賀県立大			1 (1)
京都府立大			1 (1)
大阪市立大		1	
大阪府立大		1	1
公立大学合計	8 (5)	20 (7)	18 (10)
国公立大学合計	237 (127)	254 (134)	271 (155)
酪農学園大	2	1	
北海道医療大		1	
岩手医科大	3	11 (1)	9
東北学院大	16 (6)	14 (3)	16 (2)
東北工業大	2 (1)	1 (1)	
東北福祉大	3 (2)	3 (2)	2 (2)
東北医科薬科大	24 (4)	13 (3)	19 (6)
宮城学院女子大	2 (2)		1
尚絅学院大	1 (1)		
東北芸術工科大		1 (1)	
奥羽大		1	
自治医科大	1	1 (1)	
獨協医科大	3	2	3
白鷗大	1		
文教大			1 (1)
東京歯科大		1	1
明海大		1	1 (1)
尚美学園大		1 (1)	
千葉科学大		1	
青山学院大	2 (1)	4 (2)	3 (2)
学習院大	1 (1)		1
北里大	9 (4)	4	7 (1)
杏林大	2	4	3 (1)
慶應義塾大	17 (8)	27 (11)	15 (5)
工学院大	2		6 (3)
國學院大	2	3 (2)	1 (1)
国際基督教大		1 (1)	
駒澤大	2 (1)	3	3 (1)
芝浦工大	19 (4)	13 (2)	23 (5)
順天堂大	6 (4)	5	3
上智大	3 (2)	5 (5)	2 (1)
昭和大	4 (1)	2	
昭和女子大	1		
女子栄養大	1 (1)		
成蹊大	2 (2)	3	1
成城大		2 (1)	
専修大	2 (2)		1 (1)
創価大			1 (1)

年度別	28年 3月	27年 3月	26年 3月
大学	合格者数	合格者数	合格者数
多摩美術大		1 (1)	
中央大	57 (33)	35 (14)	59 (21)
津田塾大	4 (3)	3 (3)	13 (3)
東海大	4 (2)	2	11 (4)
東京音大		1 (1)	
東京工科大	3		
東京慈恵会医大	2 (1)	1	2
東京家政大			1 (1)
東京女子大	1 (1)	2 (2)	4 (2)
東京女子医科大	1		1
東京電機大	2	3	
東京都市大	2		3
東京農業大	6 (4)	4	11 (7)
東京薬科大	5		1
東京理科大	46 (2)	55 (7)	73 (15)
東邦大	1	1	1
東洋大		1	2 (1)
日本大	10 (1)	10 (3)	8 (5)
日本医科大		2	3
日本歯科大	1	1	
日本獣医生命大	3	2	
日本女子大	2 (1)	2	1 (1)
法政大	18 (7)	20 (5)	26 (7)
星薬大	2		1
武蔵大	1		
私武蔵野大		3	
武蔵野美大		1 (1)	
明治大	30 (13)	49 (19)	55 (15)
明治学院大	1 (1)	1	1 (1)
武蔵野音大			1 (1)
立教大	3 (1)	7 (5)	12 (6)
明治薬大	1		1
立正大			
早稲田大	32 (13)	38 (14)	42 (16)
麻布大	1		
神奈川大	2 (1)	1	1 (1)
フェリス女大		1 (1)	
新潟薬大		1	
金沢医科大		1	
愛知医大		1	
京都造形芸大			1 (1)
同志社大	1	6 (1)	9 (4)
同志社女大		1	
立命館大	9 (4)	9 (2)	19 (5)
龍谷大	1		
大阪医科大			1 (1)
大阪歯大		1	
関西学院大	1	1	
関西大			
近畿大	1		1 (1)
甲南大			1 (1)
神戸芸術工科大			
神戸女学院大			
産業医大	1		1
福岡大		2	
沖縄国際大	1 (1)		
私立大学合計	390 (136)	401 (116)	491 (154)
防衛大学校	2 (1)	1	
防衛医科大	1	4	2
航空保安大学校			1 (1)
大学校合計	3 (1)	5	3 (1)
その他	1 (1)	2 (1)	
その他合計	1 (1)	2 (1)	

部活動の記録／運動部成績

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
ラグビー部	<p>第三代表決定戦            合同B0-83気仙沼向洋高校 第3位            全国高校ラグビー選手権(花園大会) 宮城県予選            1回戦 仙台二12-49仙台南            新人大大会 多賀城高校と合同チーム            1回戦(11月1日) 合同69-0東北学院高校            2回戦(11月3日) 合同41-17仙台東高校            準々決勝(11月7日)合同0-81石巻工業 (ベスト8)</p>
陸上競技部	<p>県高校総体 (5月22日～25日)            走高跳 鈴木琢斗③ 第1位            1500m 相澤拓実③ 第2位            八種競技 阿保朗楽③ 第2位            三段跳 門脇 凌② 第2位            110mH 福山皓太郎③ 第3位            走幅跳 我妻春太② 第5位            走高跳 帆足莉子② 第5位 以上7名、東北大会出場            400mR 上原・望月・高橋・帆足 第7位            5000mW 保田亜久利② 第7位            5000m 相澤拓実③ 第8位            走幅跳 門脇 凌② 第8位 男子総合27点 第5位            東北高校総体 (6月13日～16日)            1500m 相澤拓実③ 第5位            走高跳 鈴木琢斗③ 第6位            以上2名、インターハイ出場            八種競技 阿保朗楽③ 第8位            走幅跳 我妻春太② 第19位            三段跳 門脇 凌② 第30位            110mH 福山皓太郎③ 準々決勝敗退            走高跳 帆足莉子② 予選敗退            インターハイ (7月29日～8月2日)            1500m 相澤拓実③ 予選敗退            走高跳 鈴木琢斗③ 予選敗退            仙台一高・二高 定期戦 (8月4日)            総合得点 仙台二高:228点-仙台一高:164点            仙台二高勝利(7連覇)            県新人大大会 (9月3日～6日)            男子総合 第6位 男子フィールド 総合第3位            三段跳 門脇 凌② 第1位            走幅跳 我妻春太② 第2位            三段跳 我妻春太② 第3位            3000m 田中 碧② 第4位            5000mW 保田亜久利② 第4位            砲丸投 野村周平② 第4位 以上5名 東北大会出場            走高跳 帆足莉子② 第6位            東北新人大大会 (9月26日～28日)            三段跳 門脇 凌② 第1位            走幅跳 我妻春太② 第11位            三段跳 我妻春太② 第11位            砲丸投 野村周平② 第14位            5000mW 保田亜久利② 第15位            3000m 田中 碧② 第19位            全国高校駅伝競走大会宮城県予選会 (10月17日)            男子 第8位 女子 第12位</p>
ハンドボール部	<p>2015春季ハンドボール選手権大会 (4月24日～25日)            1回戦 仙台二31対18仙台育英            2回戦 仙台二25対22仙山西            準々決勝 仙台二22対25聖和学園            一高二高定期戦 仙台二25対22仙台一            宮城県高等学校総合体育大会ハンドボール競技 (6月6日～7日)            1回戦 仙台二24対23泉館山            2回戦 仙台二22対33聖和学園            第71回国民体育大会ハンドボール競技少年の部            宮城県第一次予選 (7月24日～26日)            2回戦 仙台二22対15仙山西            準々決勝 仙台二24対18仙台商業            準決勝 仙台二24対15仙台南            決勝 仙台二27対18東北学院            第51回仙台市民総合体育大会ハンドボール競技大会 (8月6日～7日)            1回戦 仙台二19対16仙台東            2回戦 仙台二14対15仙台→敗者Tへ            ・敗者T            1回戦 仙台二13対11東北学院            2回戦 仙台二11対10仙台育英            準決勝 仙台二8対14仙台商業            第64回宮城県高等学校ハンドボール競技新人大大会 (11月5日～7日)            2回戦 仙台二31対18塩釜 準々決勝 仙台二18対17仙台</p>

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
硬式野球部	<p>第9回春季宮城県高等学校野球部中部地区大会            第1回戦(4月12日) 仙台二4-5塩釜            敗者復活第1回戦(4月26日) 仙台市民球場            仙台二4-2仙台            敗者復活第2回戦(5月3日) 宮城広瀬球場            仙台二4-6多賀城            第70回仙台一高・二高硬式野球定期戦 (5月9日)            仙台二2-7仙台一            第97回全国高等学校野球選手権宮城大会 (ベスト8)            仙台二9-1仙台南 仙台二8-1名取            仙台二3-1仙台商業 仙台二6-5利府            仙台二0-5古川工業            第9回秋季宮城県高等学校野球部中部地区大会            仙台二1-4東北生活文化大            敗者復活戦            仙台二2-1泉館山 仙台二13-6泉            仙台二0-7仙台工業</p>
軟式野球部	<p>仙台一高・二高軟式野球定期戦 (7-1) (5月23日)            第64回宮城県高等学校軟式野球春季大会            (5月29日、6月1日、2日)            1回戦 仙台二高VS東北 5対4            2回戦 仙台二高VS仙台育英 3対1            準決勝 仙台二高VS仙台商業 1対2            第3位 夏季選手権第3シード(延長13回タイブレーク)            第60回全国高等学校軟式野球選手権宮城大会 (7月18日)            1回戦 仙台二高VS仙台育英 4対10            第56回宮城県高等学校軟式野球秋季大会            (10月3日、4日、6日)            1回戦 仙台二高VS石巻商業 7対1            2回戦 仙台二高VS尚綱学院 3対1            準決勝 仙台二高VS仙台商業 3対4 第3位</p>
サッカー部	<p>高校総体 (県ベスト16)            ・地区予選 (4月30日～5月11日)            仙台二9-0高専広瀬 仙台二2-1仙山西            仙台二8-0仙台 仙台二1-0仙台三            ・県大会 (5月30日、31日)            1回戦 仙台二7-0古川黎明            2回戦 仙台二0-2多賀城            選手権大会 (県ベスト8)            ・1次予選 (7月28日、29日)            仙台二8-0涌谷 仙台二3-1石巻商業(延長)            ・決勝トーナメント            1回戦 仙台二1-1東北学院 延長PK(5-4)            準々決勝 仙台二1-6宮城工業            M2リーグ            (高円宮杯MリーグU-18 2部 5月23日～1月下旬)            仙台二4-0仙台一 仙台二8-0仙台            仙台二5-1松島 仙台二2-2塩釜            仙台二5-2榴ヶ岡 仙台二1-0多賀城            仙台二5-0東北生活文化 仙台二8-0仙台南            仙台二2-2仙台一 仙台二3-0仙台            仙台二1-0多賀城 仙台二4-0東北生活文化            仙台二1-0多賀城 仙台二4-0松島            仙台二4-1仙台南 仙台二3-1塩釜            仙台二2-1榴ヶ岡 仙台二1-1泉松陵            仙台二2-0泉松陵 仙台二8-0仙台南            仙台二4-0仙台南            新人大大会 (県ベスト8)            ・地区予選 (9月30日～10月9日)            仙台二4-1尚綱 仙台二1-3城南 仙台二3-1松島            ・代表決定戦            仙台二4-0多賀城            ・県大会 (11月20日～11月23日)            1回戦 仙台二5-1築館            2回戦 仙台二2-1仙台三            準々決勝 仙台二0-0 延長PK(3-5)</p>
ラグビー部	<p>7人制県大会 予選リーグ            仙台二0-59仙台育英 仙台二24-19仙台一            予選リーグ敗退            県高校総体 佐沼高校と合同チーム (合同B)            1回戦 合同B19-5白石工業高校            2回戦 合同B24-15宮城水産高校            3回戦 合同B31-7利府高校            準々決勝 合同B14-5仙台南高校            準決勝 合同B0-88仙台育英</p>

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	
バドミントン部	男子シングルス 菅野浩史③、南元篤史③ 4 回戦進出 勢藤啓太③、須藤僚介③ 3 回戦進出 女子ダブルス 星佳奈恵③・浅沼なつみ③組 4 回戦進出(ベスト64) 女子シングルス 廣田光紀③ 4 回戦進出 浅沼なつみ③、山田優佳③、三宅茜③ 3 回戦進出 県総体個人対抗戦 (5月29日～30日) 男子ダブルス 須藤僚介③・小野寺啓③組 2 回戦進出 男子シングルス 菅野浩史③ 3 回戦進出 南元篤史③、勢藤啓太③ 2 回戦進出 女子ダブルス 星佳奈恵③・浅沼なつみ③組、高橋萌③・三宅茜③組 2 回戦進出 女子シングルス 星佳奈恵③、浅沼なつみ③ 2 回戦進出 県総体学校対抗戦 (6月6日～8日) 男子 1 回戦 仙台二3-0 古川学園 2 回戦 仙台二1-3 佐沼 女子 1 回戦 仙台二0-3 学院榴ヶ岡 県ジュニア選手権大会 (7月23日～25日) 男子ダブルス 佐藤篤季②・武内瑛②組、梅津貴志②・齋藤凛①組 3 回戦進出 男子シングルス 奈良樹① 4 回戦進出 佐藤篤季②、武内瑛②、齋藤凛① 3 回戦進出 女子ダブルス 三浦みなみ②・大江紗世②組、大泉佐緒莉①・阿部みなみ①組 3 回戦進出 女子シングルス 大江紗世② 4 回戦進出 三浦みなみ②、山谷奈々緒②、阿部みなみ① 3 回戦進出 県新人大会 個人対抗戦 (10月26日～27日) 男子ダブルス 倉増太郎①・奈良樹①組 3 回戦進出 梅津貴志②・齋藤凛①組 2 回戦進出 男子シングル 齋藤凛①組 2 回戦進出 女子ダブルス 三浦みなみ②・平塚美有②組、大江紗世②・緒方葵②組 初戦敗退 女子シングルス 三浦みなみ② 初戦敗退 県新人大会 学校対抗戦 (11月8日～10日) 男子 1 回戦 仙台二3-0 松山 2 回戦 仙台二3-0 泉 3 回戦 仙台二0-3 仙台 女子 2 回戦 仙台二3-2 仙台高専名取 3 回戦 仙台二0-3 東北生文大高	ハンドボール部 準決勝 仙台二17対31利府 平成27年度全国ハンドボール選抜大会二次予選会 仙台二20対28聖和学園 仙台二21対22仙台南 仙台二16対30利府	バスケットボール部 三部定期戦 (5月16日) 仙台二80(14-17、24-19、19-24、23-25)85仙台一 通算成績33勝32敗 第64回宮城県高校総体 (6月6日～8日) 2 回戦 仙台二84(24-9、30-9、15-7、15-25)50白石工業 3 回戦 仙台二89(29-16、20-21、22-15、18-18)70登米 準々決勝 仙台二59(11-30、10-20、12-24、26-25)99聖和学園 2年連続県ベスト8 (ウインターカップ予選2次大会シード権獲得) 第46回宮城県高校選手権予選二次大会 (10月17日～10月18日) 1 回戦 仙台二84-63古川工業 準々決勝 仙台二74-52柴田 準決勝 仙台二59-108東北 県ベスト4 平成27年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会仙塩地区予選 ・予選リーグ (10月24日～11月4日) 仙台二92-42仙台二華 仙台二97-61仙台東 (リーグ1位で県大会出場) ・順位決定トーナメント 仙台二79-69仙台 仙台二47-86聖和学園 仙台二45-77生文大 (仙塩地区ベスト8)	バレーボール部 平成26年度宮城県高等学校バレーボール男子選手権大会 ・仙塩地区予選会 (3月22日) 1 回戦 仙台二高2-0 生文大 2 回戦 仙台二高2-0 仙台南(仙塩地区予選会1位通過) 平成27年度宮城県高等学校バレーボール男子選手権大会 ・県大会 (4月28日～29日) 1 回戦 仙台二高2-1 岩ヶ崎 準々決勝 仙台二高0-2 仙台育英 (県ベスト8) 第65回バレーボール定期戦 (5月16日) 仙台二高3-0 仙台一高 通算成績32勝33敗 第64回平成27年度宮城県高校総体バレーボール競技 (6月6日～8日) 2 回戦 仙台二高2-0 宮城工業 3 回戦 仙台二高2-1 白石 準々決勝 仙台二高0-2 仙台育英 (県ベスト8) 平成27年度第68回全日本バレーボール選手権大会兼仙台放送杯争奪バレーボール大会【春の高校バレー】 (10月22日～24日) 1 回戦 仙台二高2-1 名取北 準々決勝 仙台二高0-2 東北 (県ベスト8) 平成27年度 (第36回) 仙台市民総合体育大会バレーボール競技 (11月7日～8日) ・予選リーグ 仙台二高2-0 多賀城 仙台二高2-0 仙台東 (リーグ1位通過) ・決勝トーナメント 準決勝 仙台二高2-0 泉館山 準決勝 仙台二高0-2 仙台商業 第3位(2年連続)/20チーム 平成27年度仙塩地区バレーボール新人大会 (12月19日～23日) 於：市内高校体育館) ・1次リーグ 仙台二高2-0 生文大 仙台二高2-0 泉 仙台二高2-0 仙台東 (リーグ1位通過) ・2次リーグ 仙台二高2-0 仙台西 仙台二高0-2 東北 (リーグ2位痛快、3次リーグ進出) ・3次リーグ 仙台二高1-2 仙台育英 仙台二高0-2 明成 (宮城県第7シード権獲得) 平成27年度宮城県高等学校バレーボール新人大会 (1月23日～25日 於：角田市総合体育館他) 2 回戦 仙台二高2-0 名取 3 回戦 仙台二高2-0 東北学院 準々決勝 仙台二高0-2 東北 (県ベスト8)
	空手道部	平成27年度全国高等学校総合体育大会 [近畿総体2015] (7月28日～8月20日) 女子個人形 出場 安住伊代③		
	硬式テニス部	第64回宮城県高等学校体育大会テニス競技 ・男子個人戦 (5月29日～31日/6月7日) シングルス ベスト32 倉林康太③ 齋藤圭太③ 三沢達彦① 5 回戦 西澤 朔③ 大村勇索③ 小林優駿③ 西川 智③ 西郷 匠① 4 回戦 白石悠馬③ 佐藤 諒② 3 回戦 伊東捺輝③ 田中洸大③ 近藤宏和③ 遠藤悠生③ 2 回戦 鎌田智弘③ 井上拓也③ 杏澤太斗③ 外館 駿② 坂下皓基② 佐藤澄人② 板垣悠太② 芦澤 蒼② 堀 亮介① 1 回戦 佐藤悠太① 張 辰吉① 白澤 嘉① 杉山 鍊① 岩瀬寛史① 井澤 颯① 1 回戦棄権 渡邊匠音① ダブルス 第3位 西澤 朔③・倉林康太③ 5 回戦 板垣裕太②・三沢達彦① 4 回戦 小村優駿③・大村勇索③ 田中洸大③・井上拓也③		
			県バドミントン選手権大会 (4月25日～27日) 男子ダブルス 齋藤隆幸③・李大維③組、山口翔③・武田聖真③組 4 回戦進出(ベスト64)	

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
ソフトテニス部	<p>2 回戦 0-④小牛田農林 佐治拓真①・吉田怜王②</p> <p>1 回戦 ④-0 古川学園 2 回戦 2-④仙台工業 力丸祐紀②・熊谷颯大②</p> <p>1 回戦 3-④大河原商業 石井一輝①・伊藤拓海①</p> <p>1 回戦 0-④巨理</p> <p>女子 新沼さくら②・鈴木ひかる①</p> <p>1 回戦 ④-2 白石工業 2 回戦 ④-1 利府 3 回戦 ④-1 常盤木学園 4 回戦 3-④宮城農業(ベスト32)</p> <p>芳賀春菜②・安池理乃②</p> <p>1 回戦 不戦勝 柴田農林 2 回戦 ④-1 仙台育英 3 回戦 ④-1 泉松陵 4 回戦 2-④宮城農業(ベスト32)</p> <p>藤田ひなた①・吉田こはる①</p> <p>1 回戦 3-④大河原商業 岩崎咲映①・佐倉園実①</p> <p>1 回戦 0-④古川学園</p> <p>県新人大会 (10月30日～11月1日)</p> <p>・団体戦</p> <p>男子 1 回戦 ②-1 古川工業 2 回戦 0-②仙台東</p> <p>女子 1 回戦 ②-0 仙台西 2 回戦 ②-0 角田 3 回戦 ②-0 石巻好文館 4 回戦 0-2 聖和 (ベスト8 県インドア大会出場)</p> <p>・個人戦</p> <p>男子 出場なし 女子 新沼さくら②・鈴木ひかる①</p> <p>1 回戦 ④-2 泉 2 回戦 ④-1 宮城農業 3 回戦 ④-2 大河原商業 4 回戦 0-④東北 (ベスト16 県インドア大会出場)</p> <p>芳賀春菜②・安池理乃②</p> <p>1 回戦 ④-1 常盤木学園 2 回戦 3-④仙台二華</p>	硬式テニス部	<p>3 回戦 西川 智③・齋藤圭太③</p> <p>2 回戦 伊東捺輝③・白石悠馬③ 鎌田智弘③・杏澤太斗③ 近藤宏和③・遠藤悠生③ 芦澤 蒼②・坂下皓基② 外館 駿②・佐藤 諒② 佐藤澄人②・渡邊匠人②</p> <p>・男子団体戦 (6月6日)</p> <p>1 回戦 仙台二0-2 東北学院</p> <p>・女子個人戦 (5月29日～31日/6月7日)</p> <p>シングルス</p> <p>1 回戦 熊谷汐莉② 進藤幸恵② 濱谷菜佳② 2 回戦 高畑朱里③ 伊藤真亜沙② 関口 茜② 原田佳苗②</p> <p>3 回戦 後藤萌果③ 佐藤美奈③ 田中萌依③ 小川夏佳③</p> <p>4 回戦 半澤菜月③ 三塚麗加② 5 回戦 杉浦真希子③</p> <p>ダブルス</p> <p>1 回戦 熊谷汐莉②・濱谷菜佳② 2 回戦 佐藤美奈③・原田佳苗② 関口茜②・進藤幸恵② 3 回戦 田中萌依③・伊藤真亜沙② 高畑朱里③・後藤萌果③ 半澤菜月③・杉浦真希子③</p> <p>・女子団体戦 (6月6日)</p> <p>1 回戦 仙台二2-1 築館 2 回戦 仙台二0-2 多賀城</p> <p>国体予選少年の部 (男子)</p> <p>1 回戦敗退 佐藤澄人② 板垣悠太② 佐藤歳三① 堀 亮介① 張 辰吉① 皆木溪夏① 阿部圭悟① 岩瀬博史① 井澤 颯① 赤田智弥①</p> <p>2 回戦 杉山錬① 3 回戦 芦澤 蒼② 佐藤 諒② 高岡怜史① 馬場雄大① 佐藤悠太① 白澤 嘉①</p> <p>4 回戦 坂下皓基② 外館 駿② 西郷 匠①</p> <p>6 回戦 三沢彦彦①(ベスト16)</p> <p>国体予選少年の部 (女子)</p> <p>1 回戦 進藤幸恵② 大友春奈① 相原史佳① 後藤乃々花① 遠藤悠① 大原朝妃① 富谷帆乃夏① 成田未和① 齋藤優里① 森 初夏① 西條結奈①</p> <p>2 回戦 関口 茜② 熊谷汐莉② 原田佳苗② 3 回戦 濱谷菜佳② 三塚麗加② 4 回戦 伊藤真亜沙②(ベスト32)</p> <p>平成27年度宮城県高等学校新人大会テニス競技</p> <p>・男子シングルス</p> <p>2 回戦 板垣悠太② 佐藤 諒② 三沢彦彦① 3 回戦 坂下皓基② 外館 駿②</p> <p>・男子ダブルス</p> <p>2 回戦 外館 駿②・佐藤 諒② 芦澤 蒼②・坂下皓基② 4 回戦 三沢彦彦①・井澤 颯①(ベスト32)</p> <p>・男子団体の部</p> <p>1 回戦 仙台二2-3 仙台三</p> <p>・女子シングルス</p> <p>2 回戦 伊藤真亜沙② 原田佳苗② 三塚麗加② 濱谷菜佳②</p> <p>・女子ダブルス</p> <p>1 回戦 熊谷汐莉②・原田佳苗② 2 回戦 関口 茜②・濱谷菜佳② 4 回戦 三塚麗加②・伊藤真亜沙②(ベスト16)</p> <p>・女子団体の部</p> <p>1 回戦 仙台二4-1 石巻 2 回戦 仙台二0-5 気仙沼</p>
水 泳 部	<p>&lt;競泳&gt;</p> <p>県総体 (6月26日～28日)</p> <p>・男子 総合4位 (62点)</p> <p>50m自由形 1位 堀合孝太郎② 100m自由形 1位 堀合孝太郎② 5位 永作太一③ 200m自由形 2位 永作太一③ 100m背泳ぎ 8位 佐々木健朗② 4×100mリレー 3位 (堀合孝太郎②、植田雅大③、跡部皓斗②、永作太一③)</p> <p>4×200mリレー 3位 (植田雅大③、堀合孝太郎②、跡部皓斗②、永作太一③)</p> <p>4×100mメドレーリレー 4位 (佐々木健朗②、植田雅大③、堀合孝太郎②、永作太一③)</p> <p>・女子</p> <p>100mバタフライ 5位 河村真結子① 200mバタフライ 6位 河村真結子① 4×100mメドレーリレー 8位 (森戸文香③、小林留果①、河村真結子①、今野 葵③)</p> <p>東北大会 (7月17日～19日)</p> <p>50m自由形 決勝1位 堀合孝太郎② (予選、決勝全国大会標準記録突破)</p> <p>100m自由形 決勝1位 堀合孝太郎② (予選、決勝全国大会標準記録突破)</p> <p>以上インターハイ出場決定(8月17日～20日)</p> <p>100m自由形 決勝7位 永作太一③ 男子4×100mリレー 6位 (堀合孝太郎②、植田雅大③、跡部皓斗②、永作太一③)</p> <p>全国高校総体 (8月17日～20日)</p> <p>50m自由形 予選15位 堀合孝太郎② 100m自由形 予選15位 堀合孝太郎②</p> <p>国体</p> <p>・少年A</p> <p>50m自由形 8位 堀合孝太郎② 100m自由形 8位 堀合孝太郎②</p> <p>県新人大会 (8月30日～9月1日)</p> <p>・男子 総合4位 (65点)</p> <p>50m自由形 1位 堀合孝太郎②(大会新) 100m自由形 1位 堀合孝太郎②(大会新)</p>	ソフトテニス部	<p>県総体</p> <p>・団体戦</p> <p>男子 2 回戦②-1 一迫商業 3 回戦1-②古川工業 女子 2 回戦②-1 古川学園 3 回戦0-②東北高校</p> <p>・個人戦</p> <p>男子 和田直生②・熊谷颯大②</p> <p>1 回戦 ④-0 柴田農林 2 回戦 0-④高専名取</p> <p>女子 芳賀春菜②・新沼さくら②</p> <p>2 回戦 ④-1 富谷 3 回戦 1-④東北(ベスト64)</p> <p>安池理乃②・安保沙羅③</p> <p>2 回戦 1-④仙台第一 藤田ひなた①・葛西彩理③</p> <p>1 回戦 ④-1 塩釜 2 回戦 2-④富谷</p> <p>県夏季大会 (8月11日～12日)</p> <p>男子 黒須政貴①・櫻井一馬①</p> <p>1 回戦 ④-1 気仙沼</p>

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
フェンシング部	<p>平成26年度宮城県フェンシング選抜選手権大会 (1月16日～1月18日)</p> <p>男子学校対抗 第4位 女子学校対抗 第2位 男子サーブル 第1位 伊藤 女子エペ 第1位 小野寺 第3位 只野</p> <p>平成26年度仙台市フェンシング選手権 第2回フルール杯 (2月7日)</p> <p>女子 第2位 工藤 第5位 後藤</p> <p>平成26年度仙台市フェンシング選手権 第24回サーブル杯 (2月11日)</p> <p>男子 第5位 伊藤 女子 第5位 伊藤</p> <p>平成27年度第64回宮城県高等学校総合体育大会フェンシング競技 (6月5日～8日)</p> <p>男子 個人フルール 第5位 猪狩② 第8位 菅③ 個人エペ 第2位 猪狩②* 個人サーブル 第4位 岡村③ 学校対抗フルール 第3位</p> <p>女子 個人フルール 第2位 工藤③☆ 第6位 小野寺③ 個人エペ 第2位 佐竹③* 個人サーブル 第3位 金③* 第4位 今野② 学校対抗フルール 第2位 ☆印:インターハイ・東北大会出場権獲得 *印:東北大会出場権獲得</p> <p>平成27年度第53回東北高等学校フェンシング選手権大会 (6月19日～22日)</p> <p>男子 個人エペ 第4位 猪狩② 女子 個人エペ 第3位 佐竹③ 個人サーブル 第2位 金③ 学校対抗フルール</p> <p>1回戦 1-V米澤興譲館(山形)*</p> <p>第70回国民体育大会フェンシング競技宮城県代表選手選考会少年の部最終予選 (7月12日)</p> <p>少年の部 女子フルール 第4位 只野②</p> <p>平成27年度全国高等学校総合体育大会フェンシング競技 (8月8日～9日)</p> <p>個人対抗 女子フルール 工藤③ 予選プール 3勝2敗 予選トーナメント 1回戦 9-V15吉崎(翔陽・熊本)</p> <p>平成27年度宮城県民体育大会フェンシング競技 (8月15日～16日)</p> <p>個人フルール 少年の部 男子シニア 第4位 猪狩② 男子ジュニア 第4位 長谷川① 女子シニア 第2位 只野② 第4位 今野② 団体フルール 少年の部 女子 第2位 仙台二高A 第4位 仙台二高C</p> <p>平成27年度仙台市民総合体育大会フェンシング競技 (10月10日～11日)</p> <p>フルール個人 シニアの部 男子 第3位 小枝② 女子 第3位 只野② 同 今野②</p> <p>ジュニアの部 男子 第3位 一條① 女子 第3位 角張①</p> <p>フルール団体 男子 第3位 仙台二高A 女子 第3位 仙台二高A 第4位 仙台二高B</p> <p>平成27年度宮城県高等学校新人大会フェンシング競技 (10月29日～31日)</p> <p>男子 個人フルール 第1位 猪狩② 第8位 大川② 団体フルール 第2位</p> <p>女子 個人フルール 第1位 只野② 第6位 伊藤② 団体フルール 第3位</p>	水 泳 部	<p>100m背泳ぎ 2位 佐々木健朗② 4×100mフリーリレー 3位 (佐々木健朗②、堀合孝太郎②、加藤優弥①、跡部皓斗②)</p> <p>4×100mメドレーリレー 3位 (佐々木健朗②、齋藤真怜①、堀合孝太郎②、跡部皓斗②)</p> <p>100mバタフライ 4位 河村真結子① 100m自由形 7位 佐々木健朗② 100mバタフライ 6位 加藤優弥① 200mバタフライ 6位 加藤優弥① 4×200mフリーリレー 4位 (堀合孝太郎②、齋藤真怜①、佐々木健朗②、跡部皓斗②)</p> <p>100m自由形 6位 小林留果① 200mバタフライ 7位 河村真結子① 200m平泳ぎ 8位 三好麻優子② 4×100mメドレーリレー 8位 (佐竹恭佳②、小林留果①、河村真結子①、三好麻優子②)</p> <p>東北高校新人大会 (10月16日・17日)</p> <p>50m自由形 1位 堀合孝太郎② 100m自由形 1位 堀合孝太郎② 100m背泳ぎ 6位 佐々木健朗② 4×100mメドレーリレー 6位 (佐々木健朗②、齋藤真怜①、堀合孝太郎②、跡部皓斗②)</p> <p>100mバタフライ 20位 河村真結子① 4×200mフリーリレー 13位 (佐々木健朗②、堀合孝太郎②、加藤優弥①、跡部皓斗②)</p> <p>&lt;水球&gt; 県総体 (6月28日) 仙台二 0-26 柴田</p> <p>東北高校選手権 (7月11・12日) 仙台二 1-28 山形工業 仙台二 5-34 黒沢尻工業 仙台二 8-30 柴田</p> <p>県新人戦 (10月25日) 仙台二 8-30 柴田</p>
剣 道 部	<p>仙塩支部高校剣道大会 (5月9日～10日)</p> <p>男子団体予選リーグ 対仙台工業 5-0 対仙台三桜 3-0 予選リーグ1位</p> <p>決勝トーナメント 2回戦 対高専名取 3-1 準々決勝 対仙台育英 0-2 ベスト8</p> <p>女子団体予選リーグ 対仙台育英 0-3 対泉館山 3-0 予選リーグ2位</p> <p>決勝トーナメント 2回戦 対明成 1-0 準々決勝 対仙台三 0-0 代表選負け ベスト8</p> <p>男子個人戦 千葉琢史③ 優勝 中居捷哉③ 3回戦敗退</p>	卓 球 部	<p>宮城県高校総体卓球競技 (6月6日～8日)</p> <p>・男子団体 1回戦 仙台二 3-2 学院榴ヶ岡 2回戦 仙台二 0-3 古川工</p> <p>・男子シングルス 1回戦敗退 櫻田① 内山① 2回戦敗退 横井③ 田崎③ 布川③ 八月朔日② 斉藤② 郷古①</p> <p>・女子団体 1回戦 仙台二 0-3 古川黎明</p> <p>・女子シングルス 1回戦敗退 齋藤② 2回戦敗退 金子③ 本間②</p> <p>全日本選手権大会 (ジュニアの部) 宮城県予選会 (9月6日)</p> <p>・男子シングルス 2回戦敗退 櫻田① 内山① 郷古① 吉川② 佐藤② 斉藤②</p> <p>3回戦敗退 八月朔日②</p> <p>・女子シングルス 1回戦敗退 鈴木② 2回戦敗退 菅原② 本間② 桑机② 3回戦敗退 三島②</p> <p>宮城県高等学校新人卓球大会 (11月5日～7日)</p> <p>・男子団体 1回戦 仙台二 3-0 仙台南 2回戦 仙台二 2-3 古川工業</p> <p>・女子団体 2回戦 仙台二 3-2 黒川 3回戦 仙台二 1-3 石巻西</p> <p>・男子シングルス 1回戦敗退 佐藤② 2回戦敗退 中村② 能阿弥② 内山② 3回戦敗退 八月朔日② ベスト64 4回戦敗退 郷古① ベスト32 5回戦敗退 櫻田① ベスト16</p> <p>・女子シングルス 1回戦敗退 本間② 2回戦敗退 鈴木②</p> <p>宮城県高等学校冬期卓球選手権大会</p> <p>・男子シングルス 4回戦敗退 郷古① 5回戦敗退 八月朔日② ベスト4</p>

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
柔 道 部	2 回戦 岩淵<登米総合産業> 兼権勝ち 3 回戦 伊藤<仙台育英> 1 本負け	女子個人戦	高野響生② 準々決勝敗退 北村奎太② 4 回戦敗退 佐藤聖奈③ 3 回戦敗退 土橋美燈里③ 2 回戦敗退 赤川瑞紀② 2 回戦敗退 源生七海② 1 回戦敗退
弓 道 部	第30回仙塩地区高等学校春季弓道大会 (5月16日・17日) 兼 宮城県高校総体弓道競技大会仙塩地区予選会・個人県大会出場予選会 男子12射7中以上 女子12射6中以上	県高校総体 (6月6日～8日)	男子団体予選リーグ 対泉館山4-0 対仙台東4-0 予選リーグ2勝でリーグ1位決勝トーナメントへ 決勝トーナメント 2回戦 対東北学院2-0 準々決勝 対仙台一高3-0 準決勝 対小牛田農林0-4 東北大会出場決定戦 対柴田0-3 ベスト4 第3位 女子団体予選リーグ 対石巻商業2-2 本数勝ち 対常盤本学園5-0 予選リーグ2勝でリーグ1位決勝トーナメントへ 決勝トーナメント1回戦 対ドミニコ学院0-4 ベスト16
弓 道 部	男子1名 辻本③ 通過 男子4名 谷③・日野③・平野②・阿部ゆきの② 通過 宮城県高校総体弓道競技大会 (6月7日～9日) 女子個人 第6位 谷ちひろ③ 射道優秀賞 谷ちひろ③ 東北高校総体弓道競技大会 (6月20日～21日) 女子個人 第5位 谷ちひろ③ 東北総体弓道競技大会 (8月22日～23日) 宮城選抜 少年女子 選手 谷ちひろ③ 近的 第2位 遠的 第1位 総合 第1位	男子個人	千葉琢史③ 1回戦敗退 中居捷哉③ 2回戦敗退 女子個人 土橋美燈里③ 1回戦敗退 佐藤聖奈③ 1回戦敗退
弓 道 部	平成27年度宮城県民大会 (9月13日) 高校女子団体 第2位(平野②・竹内②・八十川②) 高校女子個人 第2位 平野史佳② 第70回国民体育大会 (9月27日～30日) 宮城選抜 少年女子 遠的競技 第5位 谷ちひろ③ 第13回仙台市ジュニア大会 (10月3日) 高校女子個人 第3位 平野史佳② 仙塩地区高等学校秋季弓道大会 (10月16日・17日) 兼 宮城県高校新人弓道競技大会仙塩地区予選会・個人県大会出場予選会 12射6中以上 女子 平野史佳②・阿部ゆきの③・竹内優芽③・八十川環③・鈴木優香① 通過	国体予選会 (7月10日)	男子 高野響生② 5回戦敗退 北村奎太② 初戦敗退 森田康平② 2回戦敗退 森田祐輔② 初戦敗退 女子 赤川瑞紀② 2回戦敗退 源生七海② 2回戦敗退
山 岳 部	宮城県高校総体 (6月6日～8日 於 船形連峰) 男子5位 男子オープン参加 (10月16日～18日 於 須金岳)	仙塩支部新人剣道大会 (8月12日)	男子 1回戦 対尚絨学園4-0 2回戦 対東北学院1-1 代表者戦敗退 女子 1回戦 対仙台南2-0 2回戦 対仙台青陵5-0 3回戦 対ドミニコ学院0-4
ヨ ッ ト 部	宮城県高校総体 (6月6日～6月7日) ・男子420級 5464艇(秋山雄飛③・畠中洸哉②) 第1位 →東北大会出場権獲得 ・男子FJ級 1770艇(藤田悠生②・三浦大空①・岡田 侃①) 第3位 →東北大会出場権獲得 ・男子学校対抗 第2位 東北大会 (6月19日～21日) ・男子420級 5464艇(秋山雄飛③・畠中洸哉②) 第8位 ・男子FJ級 1770艇(藤田悠生②・三浦大空①・岡田侃①) 第9位 国体予選 (7月18日～19日) ・少年男子420級 秋山雄飛③・畠中洸哉② 第2位 ・少年男子レーザーラジアル級 藤田悠生② 第1位 →国民体育大会【和歌山国体】出場権獲得！ 宮城県高等学校ヨット新人大会 (8月29日～30日) ・男子420級 5464艇(畠中洸哉②・藤田悠生②) 第1位 5547艇(土屋航平①・三浦大空①) 第6位 ・男子FJ級 1558艇(早坂龍太①・岡田侃①) 第3位 ・男子学校対抗 第1位 第70回国民体育大会セーリング競技会 (9月9日～13日 和歌山県和歌山市) ・少年男子レーザーラジアル級 藤田悠生② 第26位	県新人大会 (11月6日～8日)	男子個人戦 高野響生② 第3位 北村奎太② 初戦敗退 女子個人戦 赤川瑞紀② 初戦敗退 源生七海② 2回戦敗退 男子団体予選リーグ 対石巻好文館3-0 対名取北4-0 予選リーグ1位 決勝トーナメント 2回戦 対古川工業3-0 準々決勝 対古川学園3-0 準決勝 対小牛田農林0-3 (第3位 東北選抜大会出場) 女子団体リーグ 対柴田0-5 対生活文化大学2-2 対泉館山3-0 予選リーグ敗退
ス キ ー 部	(平成27年度の結果) 宮城県高校総体 (1月8日～10日 オニコウベスキー場) ・ジャイアントスラローム 男子 第11位 高橋 旺大 国体予選 (1月15日～18日 オニコウベスキー場) ・ジャイアントスラローム 男子 第11位 高橋 旺大 宮城県新人戦 (3月18日～20日 オニコウベスキー場) ・ジャイアントスラローム 男子 第5位 高橋 旺大 ・スラローム 男子 第5位 高橋 旺大	第28回東北高等学校選抜剣道大会 (2月13日花巻市)	男子団体予選リーグ 仙台二 1-1 新屋(秋田) 本数負け 仙台二 1-3 花巻北(岩手) 予選リーグ敗退
そ の 他 馬 術	第26回全日本高等学校馬術選手権大会 (8月28日～30日) 個人戦 準優勝 赤間元弥②	柔 道 部	第64回宮城県高等学校総合体育大会柔道競技大会 (平成27年6月6日・7日・8日) 男子団体予選リーグ 仙台二1-4 村田 仙台二0-5 古川工業 男子個人戦 男子60kg級 菅原③ 2回戦 西城<気仙沼海洋> 1本勝ち 3回戦 武田<仙台工業> 1本負け ベスト16 男子81kg級 大久保③ 1回戦 鈴木<古川工業> 1本負け 佐藤① 1回戦 角田(古川学園) 1本負け 第119回仙塩地区高等学校柔道大会 (平成27年4月26日) 男子81kg級 大久保③ 1回戦 遠藤<東北> 1本負け 第121回仙台二高対仙台一高柔道定期戦 (平成27年5月16日) 先鋒 菅原③ 一本負け 大友<一高> 中堅 佐藤① 一本負け 大友<一高> 大将 大久保③ 一本負け 大友<一高> ※三人残し負け 第65回宮城県高校柔道新人大会 (平成27年11月1日) 男子81kg級 佐藤① 1回戦 石田<亶理> 1本負け 第38回全国高等学校柔道選手権宮城県大会 (12月19日) 男子81kg級 佐藤① 1回戦 小野<仙台北城> 1本勝ち 2回戦 村上<東北学院> 1本負け 第38回宮城県高等学校柔道体重別選手権大会 (1月30日) 男子81kg級 佐藤① 1回戦 渡邊<志津川> 1本勝ち

部活動の記録／学芸部成績

部 名	成 績
物 理 部	第39回全国高等学校総合文化祭 (2015 7月28日～8月1日 滋賀県) 文化連盟賞 「量子消しゴム実験における偏光板と干渉縞の関係」 石崎梨理 第68回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (2015 11月11日) 最優秀賞 「流水中の物体の周囲に発生する水面低下について」 畠山雄大 物理部会長賞 「ストロー笛の長さとお波数の関係について」 田母神さくら・朱博琳・柳沼幸平・岡田舞 優秀賞 「空気の矯態による音の伝わり方の違いを測定する」 田畑智佑・佐々木陸・上石知温 優秀賞 「気柱共鳴管を利用した音速の測定並びに物体の振動数の測定」 前田隆人・竹内洋翔 優秀賞 「圧電素子について」 塩入惇・佐藤嘉一・渥美拓土・藤井菜穂 優秀賞 「色の変化による光エネルギーの吸収量」 今野正大・松崎太一 優秀賞 「スリットを用いた光の干渉実験」 伊藤皓一・周星陽・松山恰 優秀賞 「気体の分子運動におけるコンピューターシミュレーション」 菊地真之・木下晴貴・野口宙・佐藤暖
化 学 部	I S E F 国際学生科学技術フェア2015 (2015 5月10日～15日) 地球環境科学部門 3 等 遠藤意弘 第39回全国高等学校総合文化祭 (2015 7月30日～8月1日) 文部科学大臣賞 宮城県仙台第二高等学校 化学部 第68回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (11月11日) 優秀賞 「三ヨウ化窒素の研究」 2年 金振彪・佐藤琴音・吉田怜王・稲垣康太・伊藤大登 優秀賞 「ダイラタンシー現象について」 1年 高野桃寧・尾形一輝 優秀賞 「様々な金属を用いた鏡面反応」 1年 塗師夏葵・佐藤信仁・門間航輝 第 5 回科学の甲子園みやぎチャレンジ (10月31日) 総合 第 3 位 (地学部・化学部合同チーム)
生 物 部	第68回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (平成27年11月11日) 優秀賞 「光の有無や水温変化による硝化細菌の活動の違いについて」 柴田隼太郎② 里見峻① 池田早穂① 岩澤明香里① 菅野千佳① 優秀賞 「キノコでバイオ燃料はつくれるか？」 山田春樹③ サイエンスキャッスル2015 東北大会 (平成27年12月6日) 「硝化細菌の活動条件についての研究」 柴田隼太郎② 里見峻① 池田早穂① 岩澤明香里① 菅野千佳①
地 学 部	第 5 回科学の甲子園みやぎチャレンジ (10月31日) 総合 第 3 位 (地学部・化学部合同チーム) 菅藤・佐々木・高谷・曳地 (2年) 庄子・塗師・門間 (1年)
美 術 部	第66回仙台市内高等学校美術展 (7月8日～12日 県美術館) 優秀賞 鳥谷部咲良 美研賞 小笠原実穂 第68回宮城県高等学校美術展 (1月27日～31日 宮城県美術館) 奨励賞 平山 菜歩
吹 奏 楽 部	第28回定期演奏会・創部60周年記念演奏会実施 (5月23日 萩ホール) 宮城県管打楽器ソロコンテスト (6月7日 中新田パッハホール) 金賞 宮城県吹奏楽連盟会長賞 長牛 (3年 サックス)・米地 (3年 ピアノ) 銀賞 天間 (3年 クラリネット) 全日本吹奏楽コンクール第58回宮城県大会予選 仙台青葉・泉地区大会 (7月25日 仙台市民会館) 高等学校の部 銀賞 第25回日本クラシック音楽コンクール宮城県本選 金管楽器チューバ部門 優秀賞・全国大会出場決定 佐々木 (2年 チューバ) 第49回アンサンブルコンテスト仙台青葉地区大会 (12月5日 広瀬文化センター) 木管 4 重奏 金賞・代表 フルート 3 重奏 金賞・代表 サックス 4 重奏 金賞 クラリネット 5 重奏 銀賞 第25回日本クラシック音楽コンクール全国大会 (12月15日 曳舟文化センター) チューバ部門 5 位入賞 佐々木 (2年) J B A 主催 全日本中学・高校ソロコンテスト 南東北大会 (12月26日、27日 宮城野区パトナホール) チューバ 佐々木 (2年) 金賞・代表 (東北大会へ) ユーフォニアム 山岸 (2年)・鈴木 (2年 ピアノ伴奏) 金賞 第49回アンサンブルコンテスト宮城県大会 (1月10日 東北大学川内萩ホール) 木管 4 重奏 金賞 フルート 3 重奏 銀賞
合 唱 部	第82回NHK全国学校音楽コンクール宮城県コンクール 高等学校の部 奨励賞
ギ タ ー 部	第21回宮城県高校対抗バンド合戦 (7月20日 (月)) 出場 第 1 回宮城県高校対抗バンド合戦 1 年生大会 (10月10日 (土)) 出場 第12回宮城県高校対抗バンド合戦新人大会 (11月7日 (土)) 出場
囲 碁 部	第39回全国高校総合文化祭囲碁部門 (県代表決定戦・4月19日・宮城一高) 宮城県代表：主将：猪股直透 (3年) 個人戦宮城県代表：伊藤佳樹 (3年) 第39回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権宮城県大会 (6月26日仙台二高) 男子団体 優勝 仙台二高 主将：伊藤佳樹 (3年) 副将：加藤彩杜 (1年) 三将：猪股直透 (3年) 女子団体 優勝 仙台二高 主将：山崎真瞳子 (1年) 副将：青木絵莉子 三将：岩指 南子 (1年) 第39回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権宮城県大会・男子個人代表決定戦 (6月27日仙台二高 6月28日宮城一高) 伊藤佳樹 (3年) 全国大会出場 第39回宮城県高校囲碁段位認定戦 男子 A 組 優勝 伊藤佳樹 六段 第39回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会 (7月25日～27日 日本棋院) 男子団体 予選リーグ 2 勝 1 敗 主将：伊藤佳樹 (3年) 副将：加藤彩杜 (1年) 三将：猪股直透 (3年)

部 名	成 績
囲 碁 部	女子団体 予選リーグ1勝2敗 主将：山崎真瞳子（1年） 副将：青木絵莉子 三将：岩指 南子（1年） 男子個人 伊藤佳樹（3年） 予選リーグ1勝2敗 第39回高等学校総合文化祭囲碁部門（7月30日・31日 滋賀県長浜市） 団体戦 全国26位（主将：猪股直透 六段） 男子個人 全国25位（伊藤佳樹 六段） 第16回宮城県高等学校囲碁九路盤大会（10月16日 仙台二高） 第1位 加藤彩杜 第4位 熊谷晟舜 第8位 平塚凜 第29回東北地区高等学校囲碁選手権（11月7日 仙台市作並） 男子団体 宮城県 優勝 5勝0敗 三将：平塚凜 女子団体 宮城県 3位 3勝2敗 副将：山崎真瞳子 三将：青木絵莉子 女子級位者戦 第1位 岩指 南子 男子三将優秀選手 5章0敗 平塚凜 第10回全国高等学校囲碁選抜大会（3月19・20日大阪府） 団体戦 全国7位（加藤彩杜、熊谷晟舜、平塚凜） 九路盤 全国9位 平塚凜
将 棋 部	第51回全国高等学校将棋選手権大会宮城県予選（5月2日） 男子団体戦 団体優勝（全国大会へ） 仙台二高Aチーム 1年 堀川、泉澤 2年渡邊 第5位 仙台二高Bチーム 第28回全国高等学校将棋竜王戦 全国大会（8月19日、20日） ベスト16 1年 堀川 宮城県高等学校将棋新人大会（11月1日） 男子個人 A組1位 1年7組 堀川将生 東北大会 全国大会出場 A組2位 2年2組 渡邊知樹 東北大会 全国大会出場 A組5位 2年7組 中村孝則 東北大会出場 A組7位 1年8組 泉澤 翔 東北大会出場 女子個人 1位 1年4組 菊地雅子 東北大会 全国大会出場 3位 1年5組 中嶋凜奈 東北大会 全国大会出場
書 道 部	ふれあい書画展（6月5日～30日） 特選 大場美波、堀田怜奈、齋藤理彩子、山内美波 宮城県高校生選抜書展（毎日書道展）（9月18日～23日） 特選 山内美波 秀作 伊藤萌菜 64回宮城県高等学校書道展覧会（10月5日～11日） 漢字部門 特選 伊藤萌菜 篆刻刻字部門 推薦 伊藤美琴 小字部門 特選 有馬明日、長田百合香 67回全国学生書道展 奨励賞 伊藤萌菜、長田実優 推薦賞 鈴木綾香、零石伽耶、菊池樹佳 第10回高校生刻字展 優秀賞 伊藤美琴、鈴木綾香

※仙台二高提供の資料を転載しています。

4 / 27	4 / 16	4 / 14	4 / 9	平成 26 年	12 / 25	12 / 22	12 / 15	12 / 10	12 / 6	11 / 17	9 / 18	7 / 20	1 / 26	1 / 4	平成 25 年	3 / 24	3 / 9	平成 24 年	10 / 12	平成 22 年	3 / 16	平成 21 年	7 / 8	平成 19 年	6 / 2	平成 16 年	3 / 6	平成 15 年	(平成28年5月分まで)	会 員 計 報	
鈴木 隆福殿	千葉 修一殿	涌井 和夫殿	加藤 正悦殿	湯沢 豊城殿	尾口 晃殿	伊藤 元博殿	後藤 勇一殿	曾我 千賀雄殿	照井 雅敏殿	平山 繁殿	高橋 重孝殿	高橋 寿一殿	齊藤 進一郎殿	廣岡 昌殿	三上 敬殿	鶴田 尚彦殿	江志 保彦殿	江本 広殿	安達 誠殿	竹内 博志殿	村田 哲哉殿	小林 謙二殿	村田 哲哉殿	村田 哲哉殿	村田 哲哉殿	小林 謙二殿	小林 謙二殿	中川 則幸殿			板倉 進殿
中 47 回	中 47 回	中 47 回	中 47 回	中 40 回	高 24 回	高 17 回	中 45 回	高 13 回	高 3 回	高 3 回	高 15 回	中 42 回	高 20 回	高 9 回	中 41 回	高 23 回	中 39 回	高 51 回	高 20 回	高 32 回	高 7 回	高 7 回	高 20 回	高 32 回	高 32 回	高 7 回	高 7 回	高 20 回	高 20 回	高 6 回	高 6 回
4 / 16	4 / 11	3 / 23	3 / 21	3 / 19	3 / 18	3 / 15	3 / 12	3 / 10	3 / 1	2 / 26	2 / 12	2 / 12	1 / 20	1 / 9	1 / 2	平成 27 年	12 / 30	12 / 26	12 / 15	12 / 17	12 / 7	11 / 12	9 / 28	9 / 23	9 / 16	9 / 6	5 / 25	7 / 25	7 / 22	6 / 16	6 / 6
三浦 紀殿	三浦 惣一郎殿	松坂 政一殿	草 健也殿	渡辺 健也殿	木川 田一郎殿	安藤 光正殿	佐藤 英治殿	庄司 毅殿	庄子 勇一殿	下島 恒雄殿	佐々 木宗男殿	阿部 利貞殿	進藤 信一殿	山本 恭逸殿	廣岡 昌殿	小野 淳雄殿	田辺 一夫殿	伊藤 央彦殿	佐々 木淳殿	大浦 喜久男殿	蘇武 世棋殿	渡辺 国雄殿	田村 郁夫殿	石垣 普殿	鹿江 恭夫殿	相澤 紘殿	中川 則幸殿	中川 則幸殿	板倉 進殿	田淵 康兄殿	柳澤 一郎殿
高 23 回	中 45 回	高 15 回	高 21 回	高 1 回	中 42 回	高 8 回	高 28 回	中 44 回	高 20 回	高 5 回	高 21 回	高 16 回	中 43 回	高 22 回	高 2 回	中 45 回	中 47 回	中 46 回	高 33 回	高 4 回	中 44 回	高 9 回	中 46 回	中 46 回	中 43 回	高 12 回	高 29 回	高 20 回	高 20 回	高 6 回	

11/3	10/26	10/18	10/11	10/8	10/4	9/27	9/22	9/11	9/6	9/4	9	8/29	8/27	8/13	8/3	7/20	7/16	7/5	7	6/28	5/30	5/29	5/27	5/11	5/7	5	5	5	4/29	4/28	4/23	4/18
手代木信昭殿	高野 実殿	工藤 孝一殿	安岡 鎮雄殿	高橋 正義殿	清水 浩殿	安藤文治郎殿	二階堂 篤殿	高橋 徳明殿	平塚 欽也殿	佐々木両道殿	佐藤 寿雄殿	五十嵐 裕殿	湯田 立郎殿	金沢 融殿	奥山 健一殿	阿部 滋殿	芳賀 成殿	鈴木 猛殿	菅原 欽也殿	鈴木 尚一殿	小林多喜一郎殿	大黒 直久殿	館山 雅夫殿	猪狩 正昭殿	星 恵林殿	正宗 研殿	庄司 成志殿	高橋 完殿	富沢 教雄殿	武田 仙一殿	加藤 紘殿	中鉢 龍範殿
高5回	高22回	中46回	中46回	高15回	中43回	中43回	中45回	高22回	高11回	高15回	中42回	高15回	高7回	中47回	高8回	高3回	高10回	高7回	高5回	高1回	中47回	高11回	中47回	中46回	高1回	高3回	高19回	高28回	高14回	高2回	高14回	高13回

岩淵 伸夫 教諭(数学) (仙台第一高校)	石井 信夫 教諭(国語) (富谷高校)	白井 聡 教諭(地・公) (仙台二華高校)	高橋 英勝 主幹教諭(英語) (気仙沼高校 教頭)	<b>▼転出された先生方▲</b>														11/23 鈴木 雅洲殿 中39回	11/26 移川 二郎殿 中36回	12/2 嶋原 幸雄殿 中42回	12/13 今野 二郎殿 中42回	12/17 牧野 陽殿 高4回	12/31 石澤 定男殿 中33回	平成28年	1/5 大谷 幹夫殿 中46回	1/28 長田 宗二殿 高11回	2 縮 尚志殿 高9回	2/3 加藤 正彰殿 高7回	3/4 桑田 隆史殿 高13回	3/13 武田 隆殿 中41回	4/28 横山 仁平殿 中47回	48号32ページの会員計報欄にある佐々木嗣郎殿(中40回)は御存命です。ご本人から間違いとの電話をいただきました。訂正してお詫びいたします。
--------------------------	------------------------	--------------------------	------------------------------	-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-----------------	-------------------	-------	-----------------	------------------	-------------	----------------	-----------------	-----------------	------------------	------------------------------------------------------------------------

今春の人事異動

岩淵 伸夫 教諭(数学) (仙台第一高校)	石井 信夫 教諭(国語) (富谷高校)	白井 聡 教諭(地・公) (仙台二華高校)	高橋 英勝 主幹教諭(英語) (気仙沼高校 教頭)	▼転入された先生方▲	村上 丈晴 事務次長 (松島高校)	松田 岳 講師(理科) (任期満了・県工業高校講師)	大友 志穂 非常勤講師(音楽) (新採用・石巻青葉中学教諭)	小林 俊夫(キャリアアドバイザー) (心のケア支援員・仙台二高)	及川 恭男 情報化支援員 (任期満了)	長島 勝彦 校長(数学) (教職員課)	村上 悟 教諭(英語) (泉館山高校)	三浦 克彦 教諭 (白石工業高校)	阿部 伸 教諭(英語) (仙台第一高校)	木村久仁彦 教諭(数学) (仙台青陵中等教育学校)	玉田 賢司 教諭(地・公) (古川黎明高校)	佐藤 和哉 教諭(地・公) (富谷高校)	田口 敬太 教諭(国語) (広島県立大門高校)	三浦 正勝 事務部長 (古川黎明中学・高校)	昆 清悦 事務次長 (宮城広瀬高校)
--------------------------	------------------------	--------------------------	------------------------------	------------	----------------------	-------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	----------------------	-------------------------	------------------------------	---------------------------	-------------------------	----------------------------	---------------------------	-----------------------

**仙台二高同窓会メーリングリストの利用について**

同窓会では、会員が相互に情報交換を行うために、メーリングリスト機能を利用しています。利用に当たっては事前登録が必要です。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<https://sites.google.com/site/sendai2dousoukai/>

なお、「Yahoo」をご利用されていた方も、改めて「Google」での登録を行って下さい。

**二高への交通の便<仙台駅前から>**

- ▶仙台市営地下鉄(東西線)・国際センター駅下車徒歩約4分、運賃200円
- ▶仙台市営バス・仙台駅前バスプール16番から730、739系統『二高・県美術館前』下車、運賃180円
- ▶仙台市営市内観光循環バス『るーぶる仙台』・仙台駅前バスプール15-3番、運賃(1回券)260円、(1日券)620円。(但し、瑞鳳殿、大橋、青葉山、八幡神社等とを大きく経由しています。)

加藤 翠 非常勤講師(音楽) (新規任用)	▼昇任された先生▲	若林 春日 主幹教諭(理科)	▼退職された先生方▲	渡辺 幸雄 校長 (東北工業大学教授)	奥山 雅敏 教諭(英語)	齋藤 智 教諭(国語) (再任用・仙台二高)	小林 康一 教諭(公民) (仙台育英高校)	千葉 浩一 事務部長 (再任用・小牛田農林)
--------------------------	-----------	----------------	------------	------------------------	--------------	---------------------------	--------------------------	---------------------------

**編集後記**

地下鉄東西線が開通し、二高生の通学風景もだいぶ変わったようです。茶畑へも直行できるようになりましたので、より交流が増えると思いますね。

同窓会でも、ゴルフ対抗戦などで交流していますが、今年の定期戦祝勝会に一高応援団のOBが参加し、互いにエール交換を行いました。

地下鉄の開通を契機に、在校生・卒業生共にライバルとの交流を深めながら、切磋琢磨していきたいものです。

関 裕介(高38回)